

海の森水上競技場

指定管理者審査

提案書類（事業計画書）

団体名 海の森水上競技場マネジメント共同企業体

所在地 東京都文京区関口1丁目47番12号江戸川橋ビル2階

代表者名 一般財団法人公園財団 理事長 蓑茂 壽太郎

事業計画書様式一覧

提 案 課 題			ページ	
1 事業計画書	提案課題 1	管理運営の基本方針	1	
	提案課題 2 施設の提供、運営に関する業務	1 施設の提供	(1) 施設提供の実施方針	7
			(2) 休館日及び開場時間	8
			(3) 利用の調整	9
			(4) 利用料金	10
		2 施設の運営	(1) 競技コース等運営業務	13
			(2) 水門・揚排水ポンプ運営業務	15
			(3) 艇庫運営業務	17
			(4) トレーニングルーム運営業務	18
			(5) 宿泊室運営業務	19
			(6) ユニークベニューや各種イベント等の開催地としての活用にかかる業務	20
		3 施設内サービス	(1) 受付案内	21
			(2) 苦情・要望等に対する対応等	22
	提案課題 3 スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務	1 事業の提供	(1) スポーツ振興事業	23
			(別表) 事業実施計画	25
			(2) スポーツの日記念事業	27
			(別表) 事業実施計画	28
			(3) 自主事業	29
			(別表) 事業実施計画	31
		2 施設の事業を支える仕組み	(4) 周辺連携事業	33
			(別表) 事業実施計画	35
			(5) 利用者に対するサービス提供事業	37
			(別表) 事業実施計画	39
	3 都立スポーツ施設等のネットワークを生かした取組	(1) 広報	41	
		(2) 業務の品質管理	42	
			43	
	提案課題 4 組織及び人材	1 効果的かつ効率的な組織体制の確保	44	
		(別表) 各部門の所要人員	45	
		2 明確な責任体制の構築	46	
		3 適切な勤務体制等	47	
4 人材育成の取組		49		
提案課題 5 施設の維持管理その他管理運営に関する業務	1 施設、附属設備及び物品の維持管理	(1) 施設、附属設備及び物品の維持管理	51	
		(2) 施設の修繕	52	
	2 その他管理運営に関する事項	(1) 危機管理及び災害対応	54	
		(2) 地球環境への配慮	57	
		(3) 個人情報の保護	58	
		(4) 感染拡大防止	59	
提案課題 6 収支計画		60		
(別表) 指定管理期間中の収支計画		62		
(別紙1) 収支計画の積算内訳		64		
(別紙2) ⑤委託費（維持管理費等）の積算内訳		66		

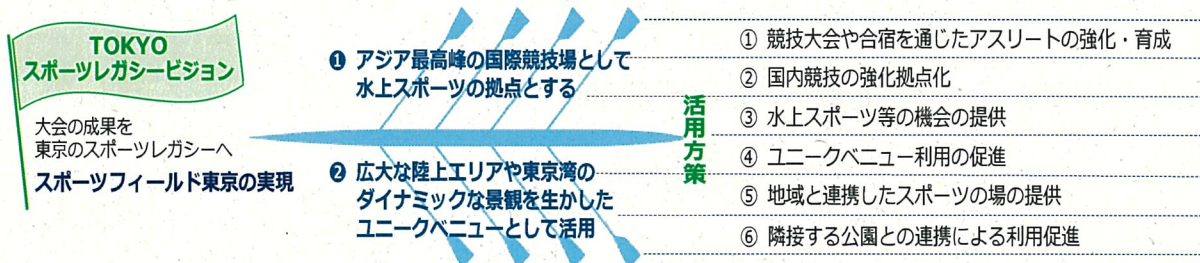
I. 海の森水上競技場に対する基本認識

1. 海の森水上競技場について

- 海の森水上競技場（以下「当施設」という。）は、体育・スポーツ・レクリエーションの普及振興を図り、**都民の心身の健全な発達に寄与するために設置されたスポーツ施設**です。東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京 2020 大会」という。）のボート、カヌー（スプリント）の会場として整備され、国際基準の水上競技施設をはじめとして多目的な機能を有しています。
- 東京 2020 大会は、新型コロナウイルス感染症拡大という特殊な環境下で、多くの国民に感動とスポーツの素晴らしさを伝えました。当施設は、東京 2020 大会のレガシーを継承し、多様なスポーツ・文化の体験を通じて、**将来にわたり多くの都民に親しまれる施設**であることが求められています。
- また、高層ビル群が描くスカイライン、構造美を魅せる東京ゲートブリッジ、離発着する旅客機の流動景観などが創り出す「海と空の一大パノラマ」は、当施設の大きな魅力であり、非日常の高揚感を高めます。この恵まれた景観・環境を資源と捉え、隣接して設置される海の森公園をはじめとして、地域資源との連携を推進し、**エリア一帯の価値形成を先導する役割**があると認識します。

2. 東京都の計画・施策について

- これまで東京都（以下「都」という。）は、「新規恒久施設の施設運営計画（平成 29 年 4 月）」や「大会後のレガシーを見据えた東京都の取組－2020 のその先へ－（令和 3 年 7 月）」などにより、当施設の活用方策及び施設運営の指針を定めています。
- 令和 4 年 1 月には「TOKYO スポーツレガシービジョン」を策定し、当施設は「**スポーツフィールド東京の実現**」の一翼を担う**拠点**に位置づけられています。そして、施設・環境・立地の優位性を生かした水上スポーツの拠点ならびにユニークベニューとして利活用を図ることが示されています。



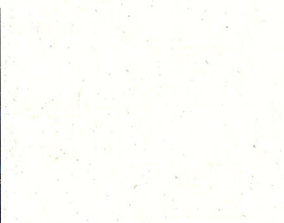
①水上競技大会



③水上スポーツの機会



④オンラインライブ



⑤地域連携プログラム

II. 海の森水上競技場マネジメント共同企業体の基本姿勢

1. 海の森水上競技場マネジメント共同企業体について

- 私たちは、公共施設ならびにスポーツ・レジャー施設などの管理運営事業を全国で展開する 4 つの団体で構成された共同企業体（以下「当法人」という。）です。当施設においては、令和元年 6 月の開業から令和 4 年 4 月の再開業、現在に至るまで、**約 3 年間の管理運営経験を有する最初の指定管理者**です。
- 指定管理者として、コロナ禍の複合災害や東京 2020 大会開催延期に対応し、都をはじめ東京 2020 大会組織委員会、水上競技団体などの多様な主体との連携のもと、**東京 2020 大会の成功と当施設の初動期に尽力**しました。引き続き、これまでの経験とネットワークを生かし、専門性と信頼性の高い公共施設マネジメントを実践するとともに、社会課題の解決に取り組みます。
- 新型コロナウイルス感染症がもたらしたニューノーマルな社会、頻発化する災害、人口減少、ダイバーシティなどに対応し、**成熟都市・東京のさらなる発展と持続可能な社会（SDGs）の実現に貢献**します。

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

提案課題1 [管理運営の基本方針]

2. 当法人の構成団体について

【代表団体】 (一財) 公園財団	担当業務	統括業務、施設提供・運営業務、スポーツ振興事業、自主事業、周辺連携事業 等
		・ 国営公園をはじめ、全国 33 箇所の公園・スポーツ・レジャー施設を 48 年以上管理運営 ・ 2005 年世界ボート選手権大会ほか多数競技大会を開催する国営の水上競技施設を 20 年以上管理運営 ・ “世界の絶景”と称されるネモフィラ花畑、野外の音楽・アウトドア・フードイベントなどで地域に貢献
【構成員 A】 (株) 協栄	担当業務	艇庫管理運営業務、宿泊室管理運営業務 等
		・ 埼玉県の戸田漕艇場内設置の国立の NTC ボート競技力強化拠点施設・艇庫を 49 年以上管理運営 ・ 東京 2020 大会会場であったカヌー・スラロームセンターの指定管理者 ・ 国立の競技場、国際基準のサッカースタジアム、ドーム球場などのスポーツ施設を管理運営
【構成員 B】 日建総業 (株)	担当業務	競技コース等管理運営業務、建物・施設・設備管理、警備業務、清掃業務 等
		・ 都立の海上公園 (15 箇所) や都市公園 (7 箇所) を管理運営 (都立公園指定管理者第 1 号) ・ 東京 2020 大会会場の大井ふ頭中央海浜公園 (ホッケー)、夢の島公園 (アーチェリー) の指定管理者 ・ 平昌五輪日本代表選手経験者と北京五輪日本代表コーチ経験者が在籍イベントなどで活躍
【構成員 C】 野村不動産ライフ & スポーツ (株)	担当業務	トレーニングルーム運営業務、スポーツ振興事業 等
		・ 全国 37 箇所、会員数約 11 万人、年間約 1 千万人のお客様を迎える総合スポーツクラブを 34 年運営 ・ 職場環境の改善や健康課題に即した取組を実践し「健康優良法人 2022 (大規模法人部門)」に認定 ・ 障がい者スポーツを支援する企業として「東京都スポーツ推進企業」に認定

指定項目 | Ⅲ. 当法人が定める管理運営の基本方針

1. 管理運営の目標・コンセプト・取組方針

- 前述した当施設の活用方策及び施設運営の指針に基づき、「アジア最高峰の水上スポーツ拠点」、「成熟都市・東京を印象づけるユニークベニュー利用」、加えて「都民が健康と豊かさを実感できる場所」の 3 つの拠点づくりを管理運営の目標とします。そして、多様なステークホルダーとともに新たな価値を創造していくという意志を込めて、以下の管理運営コンセプトと 5 つの取組方針を定め、着実に実行します。

《管理運営コンセプト》

個性と魅力にあふれるスポーツ・文化の拠点を「共漕」で実現する

《5 つの取組方針》

- ① 国内外のアスリートから次世代を担う子どもたち、障がい者まで、様々な挑戦と成長を支援するインクルーシブな施設・環境づくりで、世界に誇れる水上スポーツ拠点を目指します。
- ② 多様なスポーツ・レクリエーションの体験・活動を通じて、多くの都民が楽しみ、東京の成熟した姿と豊かな生活・文化を実感できる場としてプレゼンスをさらに高めます。
- ③ 施設の立地・環境・景観の優位性を生かし、エンターテインメントやユニークベニューなどによる利用を促進するため、IT を活用した魅力発信と利用価値の向上を図ります。
- ④ 港湾部に立地する施設の環境・気象条件、特殊な水上競技施設・水門設備などの性質を十分理解したうえで、都民ならびに利用者の安全・安心の確保、施設の適切な維持保全を図ります。
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症をはじめ、様々な災害対応経験を生かした危機管理マニュアル・事業継続計画を整え、防災・減災・備災に取り組み、利用者スタッフを守る行動を徹底します。



カヌー体験教室



アウトドアフェスティバル



防災訓練



新型コロナウイルス感染症対策

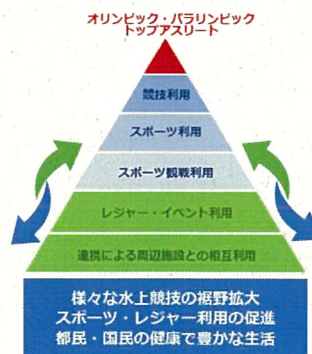
事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

2. 都の示した「業務内容及び管理運営の基準」の実現に向けて

1) 確実な業務遂行

- **競技利用・都民利用・周辺施設との連携の視点を重視**し、当施設に関わるすべてのステークホルダーに安全で快適な利用を提供します。
- 当法人スタッフはもとより、協力企業スタッフに対しても、**利用者・関係者への親切丁寧な対応**、公平平等な対応、ユニバーサルデザイン、LGBTQ+への配慮、法令遵守を徹底します。
- 自ら業務を逐次点検・評価し、継続的な改善、軌道修正を実行するとともに、都民の声を的確にサービスに反映させていくため、**PDCA サイクルによるスパイラルアップ**を図ります。



2) 多様なステークホルダーとの信頼関係の構築

- 競技団体をはじめスポーツ関連団体などと **Win-Win の関係を構築**し、欠かすことのできないパートナーとして、水上競技はもとよりスポーツ・文化の普及振興事業に取り組みます。
- 利用者の意見・要望は、意見投函箱やホームページにて常時聴取するとともに、利用者アンケートや周辺都民へのネットリサーチを実施し、**利用環境・サービスの改善**につなげます。

3) 施設の特性を踏まえた安全管理・危機管理の推進

- 水上競技施設や水門設備、防風林などの管理を効率的に実施するため、これまでの経験とデータをもとに、異常の発生周期を踏まえながら予防保全に努め、**人的物理的被害、費用的損害を最小限**に止めます。
- 全国各地での災害対応経験を生かし、安全管理・危機管理に関する**独自の業務マニュアル・事業継続計画**を整え、専門的技術と関係機関との連携により適切に対応します。

4) 施設の利用の活性化と価値向上

- 年間の来場者 35 万人の数値目標に加え、**利用者満足度 85%以上の数値目標を独自に設定**し、達成状況や定量・定性の評価を可視化することで、業務の見直しや改善につなげます。
- 日常的な健康・運動利用の促進と、非日常を楽しむ体験型イベント・プログラムの提供を取組の両輪とし、水上スポーツはもとより、**あらゆる人がスポーツに参加できる機会を充実**させます。
- **TOKYO スポーツレガシービジョン（7つの取組）**を都や関係団体とともに推進します。

1	他のスポーツ施設との連携による戦略的活用	・東京 2020 大会施設と連携したスポーツイベントや交流イベント、広報活動等の実施 ・スポーツを「する・みる・支える」場として、多目的な都民利用・競技利用を支援
2	国際スポーツ大会の誘致・開催	・多様な競技、大会規模に対応し、国際大会を誘致 ・2023年カヌー・アジア選手権の開催支援 ・施設の多機能性・活用事例の発信、東京・周辺環境の魅力アピール
3	スポーツの場を東京の至る所に拡大	・誰でも楽しめるスポーツ・レクリエーションの体験機会、新たな接点を創出 ・HP・SNS、マスメディア、競技団体、地域のネットワークを活用し情報発信
4	パラスポーツの振興	・「TEAM BEYOND」「NO LIMITS CHALLENGE」への積極的な支援 ・2022 年開設予定の都パラスポーツトレーニングセンター（仮称）との連携・交流
5	東京のアスリートの活躍	・東京のアスリートの活躍、次世代のアスリートの育成につながる取組を支援 ・女性や障がい者のアスリートの活躍やスポーツ・インテグリティの推進を支援
6	ボランティア文化の定着（ボランティアマインド醸成）	・東京 2020 大会レガシーイベントや学校行事、市民活動などへの参画・支援 ・東京ボランティアレガシーネットワーク、TOKYO 障スポ&サポートへの支援
7	東京 2020 大会の資産や込められたメッセージを未来に受け継ぐ	・東京 2020 大会に関するヒト・モノ・コトを文化遺産・アーカイブ資産として活用 ・宮城県石巻市と岩手県高田松原市の復興祈念公園を通じて被災地との交流を促進



パラスポーツの振興
障がい者陸上教室

施設見学
東京 2020 大会ガイド

カヌー体験教室
指導員の活躍

体験教室などの
サポート

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

指定項目 | IV. 年間来場者 35 万人達成に向けた基本方針

1. 多様なスポーツ・レクリエーションの体験を通じて利用の裾野を拡大

- 都の示した「業務内容及び管理運営の基準」を着実に遂行し、水上競技の大会・合宿・練習利用はもとより、誰でも参加できる**多様なスポーツ・レクリエーションの体験の場を提供**することで、都民・地域団体の継続的な利用を確保します。
- 東京都スポーツ推進総合計画の「都民のスポーツ実施率を 2021 年の 68.9%から 70%へ」に資する「する・みる・支えるスポーツ」の取組を**屋内外の施設を有効活用し通年で展開**します。

する スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な競技の体験プログラムを実施し、競技経験者による指導で安心・信頼を提供 ・子どもから高齢者まで初めてでも参加できる内容で実施 ・初心者から初級者、中級者へと成長プロセスに合わせた指導を実施 ・当法人の障がい者スポーツ支援の経験を生かし、障がいに応じたサポートを実施
みる スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・トップアスリートの活躍を間近で観戦できることをホームページや SNS にて発信 ・大会・イベント情報などをプレスリリースしマスメディアを活用 ・東京 2020 大会のメモリアル展示やローイングマシンの体験コーナー、クイズラリー等楽しみながら関心を深めていく仕掛けを展開
支える スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・水上競技経験者によるレクチャーや東京 2020 大会ガイド、都民協働による東京港の自然・文化のガイドを実施 ・障がい者向け体験プログラムのサポートなど、ボランティア活動を推進 ・ボートやカヌー体験と海面清掃などを組み合わせた市民協働型プログラムを実施 ・HP・SNS・動画・写真など、インフルエンサーや関係団体、都民の協力を得て魅力発信

2. ユニークベニューによる幅広い利用の増進

- 当施設の特性を生かしたユニークベニューとしての利活用を実現するため、当法人が有する全国 70 箇所以上のスポーツ・レジャー施設の管理運営経験とノウハウ、ネットワークを駆使し、**全般的・広域的な利用の誘致**を推し進め、新たな価値を創造します。
- さらに、屋内外の充実した施設環境と東京ゲートブリッジや夜景などの優れた景観を生かし、多彩なスポーツ・レジャーを体験できる機会を提供します。時代のニーズやニューノーマルに対応したサービスを展開し、**幅広い世代が集うアーバンリゾート拠点を創出**します。

1) 新たなスポーツ・レジャー体験フィールドの提供

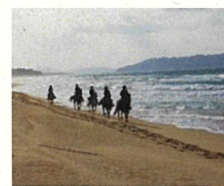
- 「漕ぐ楽しみ」をコンセプトに**水上と陸上のアクティビティを充実させた体験フィールド**としてアイデンティティを形成します。
- カヌーやボート、SUP をはじめ、BMX、ローラースキーなど、幅広い世代が楽しめるメニューを提供します。

2) 開放感と非日常感のあるバーベキューサイトの開設

- 良質なアウトドアファニチャーによる居心地の良いデイキャンプや、地場産品を使ったプレミアムなフードメニューなどを提供する**バーベキューサイトを開設**します。
- 現場説明時の都のバーベキュー施設整備予定を受けての提案であり、より良い整備・管理運営の計画を支援します。

3) 海の森公園との連携による多様な賑わいと交流の創出

- 当法人の**公園管理運営のノウハウと海の森倶楽部のネットワーク**を生かしたユニークベニューの誘致活動を展開します。
- 陸上競技と水上競技、音楽と夜景、アウトドアと環境学習、防災訓練と防災学習など、共有・補完しあうことで**多目的性が高まる取組を提案し誘致**します。



事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

提案課題1 [管理運営の基本方針]

3. 利用目的別の来場者目標

利用目的	利用者	来場者目標
①大会利用・観戦利用	水上競技大会（30大会）の選手・関係者・観戦者	150,000人
②合宿利用・練習利用	合宿利用・練習利用など	50,000人
③健康・運動利用	トレーニングルーム、ウォーキングなどの個人利用	20,000人
④レジャー利用	レクリエーション利用、バーベキュー利用、周遊利用、夜景観賞など	35,000人
⑤スポーツイベント利用	水上競技の体験教室イベント、フィットネスなどのプログラムの参加利用	2,500人
⑥賑わいイベント利用	スポーツの日、音楽などのイベント利用、ユニークベニュー利用	90,000人
⑦施設見学・団体利用等	学校の社会科見学、行政・団体視察、企業研修など	2,500人
年間来場者 合計		350,000人

4. 施設稼働率向上の取組

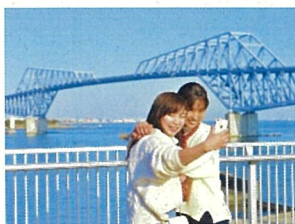
1) 周辺4区の都民を対象としたネットリサーチ結果に基づく利用促進策の実施

- 当法人は、当施設への期待や潜在ニーズを把握するため、**周辺4区の都民を対象としたネットリサーチ**を実施しています（令和4年2月）。この調査結果に基づき、都民サービスにつながる取組を実行します。
- 調査概要：施設概要を理解したうえで、興味・関心のあるイベント・サービスを選択いただくもの。
調査対象：江東区・港区・大田区・江戸川区在住の450人、20～70歳以上（男性50%：女性50%）
- 調査結果

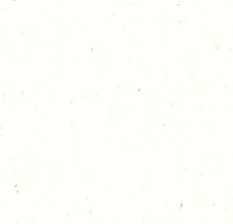
調査項目	上位の回答項目（複数回答可）
日常利用への期待	散歩・景色を楽しみたい（59.8%）、カフェ・レストラン（32.4%）、ウォーキング（31.3%）
水上スポーツ体験への興味	カヌー（12.9%）、スキューバダイビング・シュノーケリング（12.9%）、ボート（10.2%）
水上以外の体験への興味	ウォーキング（31.3%）、星空観察（29.6%）、夜景観賞（18.9%）、ナイトツアー（18.2%）
イベントへの期待	花火大会（47.3%）、飲食・グルメイベント（45.8%）、フリーマーケット・マルシェ等の物販イベント（24.4%）、音楽イベント（19.6%）
管理・サービスへの要望	快適なトイレ・ベンチ47.8%、交通アクセス充実46.0%、安全・防犯対策24.4%

調査結果に基づく利用促進の視点

- ① 水上スポーツを気軽に楽しめる施設という価値をアピールし、興味・関心を喚起します。
- ② 健康や食への期待に応えるイベント・プログラムを実施し、幅広い世代の利用を誘発します。
- ③ 立地性と環境性を生かしたナイトタイムの魅力づくりで競技利用以外の有効活用を図ります。
- ④ ウィズ/アフターコロナでも安心して参加できる屋外のイベント・レクリエーションを実施します。
- ⑤ 非接触・分散利用の措置・喚起を進め、清潔性・快適性・安全性を確保します。



優れた景観の活用



フィットネスプログラム



都民が活躍するイベント



ナイトタイムの活用

2) リピート利用と平日利用の誘致

- 江東区・港区・大田区・江戸川区の都民（人口約220万人）のうち、25歳以上55歳未満が4割（約95万人）を占めています。体力気力共に充実した世代であり、週末を家族と一緒に健康的に過ごしたいという思いに応えるため、**子育て家族が楽しめる体験型のイベント・プログラム**を企画します。

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

提案課題1 [管理運営の基本方針]

- 同様に55歳以上は3割(約70万人)を占めています。余暇を健康的に過ごしたい世代であり、トレーニングルームをはじめ、ウォーキングやフィットネスなどの**個人で楽しめるプログラム**を充実させます。
- カヌー・スラロームセンターや東京ゲートブリッジ、東京都環境局埋立処分場など、港湾部の都市環境を学ぶことのできる施設との連携により、**教育旅行やレガシーツアーを誘致**します。
- 企業の水上スポーツによるチームビルディング研修、周辺施設で開催される集客イベント関係者などを積極的に誘客し、**宿泊室や会議室、ラウンジなどの平日利用を確保**します。

指定項目 | V. 国際・国内大会年間30大会達成に向けた基本方針

1. 水上競技団体・スポーツ振興団体等との連携による誘致

- 都や国の水上競技関連施設の管理運営で築いてきた**各種競技団体との信頼関係**の中で、大会の誘致先のアドバイスを受け、効果的・効率的な広報活動を展開します。

主な競技団体 日本ボート協会、東京都ボート協会、日本カヌー連盟、東京都カヌー協会、日本ドラゴンボート協会、東京都ドラゴンボート協会、日本トライアスロン連合、東京都トライアスロン連合

- 様々な大会や合宿の誘致にあたり、東京2020大会の躍動・感動を伝える広報ツールと、貸出施設の充実・利便性を示した「利用の手引き」を作成し、**訪問営業による誘致活動**を実施します。
- 東京2020大会の会場施設であることに加え、素晴らしい景観や周辺の集客施設なども魅力的な要素であるため、**参加者にとって貴重な経験、記憶に残る活動**となることをアピールします。
- 大会・合宿などの年間スケジュールにおいては、各競技団体との調整に時間を要することから、競技団体を一堂に会した調整会議を実施するほか、日頃から情報収集や意見交換を積極的に行います。
- 全国のスポーツ・レジャー施設の管理運営を通じて得られる**利用者のニーズや関連情報を生かし、当施設のセールスポイントを充実**させていくとともに、その情報を効果的に発信します。
- 大会規模や競技種目に適した利用プランやセット割引プランの提案など、**円滑な運営をサポート**します。

2. 質の高い競技環境の維持・向上に「アスリートの声」を反映

- アスリートの強化や育成の場として最適な環境を維持するため、アンケートやグループインタビューなどで得られた意見・要望を現場に反映させるなど、**アスリートファーストの視点を重視**します。
- 特に夏季の水上競技シーズンについては、**早朝・日没前の時間に施設開放**するなど、安全管理の徹底を図ったうえで柔軟に対応します。
- 大会のみならず、合宿・練習利用時の競技団体同士の交流戦マッチングや指導者を紹介する仕組みづくりで、**地方と東京のアスリートを支援する取組**を強化するとともに、来場意欲を向上させます。

3. 大会規模別の目標数

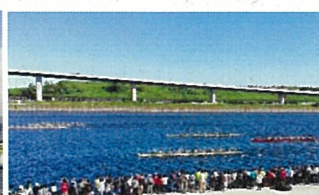
単位：大会

競技種目	1万人規模	5千人規模	3千人規模	1千人規模	備考
ボート	4	2	2	4	1万人以上：国際大会 5千人以上：全日本・国体大会 3千人以上：学生・市民大会 1千人：ジュニア大会 ※人数は観戦者を含む人数
カヌー	1	3	1		
ドラゴンボート		1	2	1	
トライアスロン		1	3	1	
その他			2	2	
小計	5	7	10	8	全30大会



トップアスリートによるボート競技

ボート競技大会



ドラゴンボート競技大会

トレーニングルームの利活用

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

指定項目（1）施設提供の実施方針

〔基本的な考え方〕

- 当法人は、東京都体育施設条例及び同施行規則に基づき、「体育・スポーツ及びレクリエーションの普及振興を図り、都民の心身の健全な発達に寄与するため設置された東京都体育施設」として、適切な管理運営を行います。
- そのため、都が示した「管理運営基準」の規定を、従事するすべてのスタッフが熟知したうえで、公平・平等な施設提供を行います。また、当施設の**管理運営マニュアル**や**危機管理マニュアル**、**事業継続計画（BCP）**などを整え、**安全で快適な施設利用を確保し、質の高い公共サービスを提供**します。

〔具体的な取組〕

1. 公の施設の管理運営者としての遵守事項

- 1 関係法令及び条例の規定を遵守し、適正な管理運営を行います。
- 2 施設利用者に対して適切なサービスの提供を行います。
- 3 施設、附属設備、物品の維持管理及び修繕を適切に行います。
- 4 業務に関連して取得した個人に関する情報を適切に取り扱います。
- 5 施設利用を希望する者が規則で定めるところにより申請し、知事の承認を受けるまでの行為において、適正かつ公平平等な対応を行います。
- 6 当施設の秩序を乱す恐れがある、また、管理上支障があると認めた時は、使用の不承認及び真摯な対応を行います。
- 7 施設の利用料金に関して、適正な価格で信頼できる施設・サービスを提供し、利用料金徴収から管理まで公平平等に対応します。また、利用料金の減免についても公平平等に対応します。



管理運営マニュアル

2. 全10施設の施設提供にあたっての重点項目

施設名	重点項目・留意事項など
競技コース・附属施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ポンツーンの縁に貝類が付着するため、定期的に除去作業を行います。 ・潮位が低い場合はポンツーンの傾斜が大きくなるため、利用者への注意喚起を行います。 ・海上保安庁や東京湾波浪観測所の風速や潮位データを注視し、安全利用を促進します。
水門	<ul style="list-style-type: none"> ・外海との水循環と不審船進入防止のため、門扉の開度 3m を徹底します。 ・都が行う護岸点検などの際は、競技コースの利用状況を確認のうえ開放します。 ・水門門扉を開ける際は、巻上滑車などの隙間に浮遊物がないことを確認します。
会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・スクリーンやプロジェクター等の使用予定を利用者へ確認し、予め動作確認を行います。 ・床のマット材は砂などが溜まりやすいので、定期的な清掃により清潔に保ちます。
ラウンジ	<ul style="list-style-type: none"> ・多摩産材が使用されたテーブルやイスが置かれたくつろぎの空間を提供します。 ・特別なゲストをもてなす空間としての使用が多いため、行き届いた清掃を行います。
ドーピングコントロール室	<ul style="list-style-type: none"> ・アスリートの尿などの検体採取を行うため、使用のない時も清潔に保ちます。 ・ドーピング検査がスムーズに行われるよう、室内の便器も含め清潔な状態に保ちます。
食堂	<ul style="list-style-type: none"> ・貸切時以外は、どなたでも自由に入出入りできる休憩スペースとして開放します。 ・不特定多数が利用するため、テーブルやイスの消毒などはこまめに行います。
艇庫・貸出艇	<ul style="list-style-type: none"> ・躓き防止のため、艇庫内の動線上に不要な物品などがないよう整理整頓を行います。 ・貸出艇に不具合のないよう、日常・定期の点検を行います。
トレーニングルーム	<ul style="list-style-type: none"> ・機材の使用に伴い摩耗する部品などもあるため、施設提供前には稼働確認を行います。 ・機材使用時には汗が付くため、使用後には機材や床の汗を拭いて清潔に保ちます。
更衣室	<ul style="list-style-type: none"> ・濡れた床で利用者が転倒しないよう、マットなどを敷設します。 ・常に清潔なシャワーブースや洗面台、排水溝の詰まり防止、忘れ物に注意します。
宿泊室	<ul style="list-style-type: none"> ・チェックアウトからチェックインまでの時間内に細やかな清掃・点検を行います。 ・部屋の予約に重複がないよう、複数のスタッフによるチェックを行います。

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

指定項目(2) 休館日及び開場時間

〔基本的な考え方〕

- 当施設の休館日及び開場時間については、水上競技利用者の動向と施設の利用目的・機能を踏まえ、以下の通り提案します。赤字の記載は、東京都体育施設条例施行規則からの変更事項であり、都と協議のうえで決定します。

〔具体的な取組〕

1. 休館日

1) 東京都体育施設条例施行規則に示されている休館日・施設などの整備日

種別	休館日	施設などの整備日
全10施設	12/29~12/31、 1/1~1/3	1箇月につき5日を越えない範囲において知事が指定

【全10施設】

競技コース、水門、会議室、ラウンジ、ドーピングコントロール室、食堂、艇庫、トレーニングルーム、更衣室、宿泊室

2) 当法人が提案する休館日・施設などの整備日

種別	休館日	施設などの整備日
全10施設	12/29~12/31、 1/1~1/3	<ul style="list-style-type: none"> ・12月の第1月曜日から第1木曜日の4日間 ・2月の第2月曜日から第2木曜日の4日間



電気設備の法定点検(停電作業)

- 設定変更の理由など**：上記の日程を休館することで、電気設備点検や停電作業、害虫駆除、定期清掃などの業務を集中的・効率的に行います。12月は電気設備点検(停電)などを実施し、2月は各種点検に基づく修繕、害虫駆除などを実施します。

2. 開場時間

1) 東京都体育施設条例施行規則に示されている開場時間

種別	開場時間
9施設(下記以外の施設)	午前9時から午後5時まで
宿泊室	午後4時から翌日午前10時まで

2) 当法人が提案する開場時間

種別	開場時間
5施設(下記以外の施設)	・午前9時から午後5時まで
競技コース	<ul style="list-style-type: none"> ・4~9月は午前7時から午後7時まで ・10月~3月は午前9時から午後5時まで
食堂	・午前7時から午後10時まで
艇庫	<ul style="list-style-type: none"> ・4~9月は午前7時から午後7時まで ・10月~3月は午前9時から午後5時まで
更衣室	・午前7時から午後10時まで
宿泊室	・午後4時から翌日午前10時まで

- 設定変更の理由など**：水上競技利用は早朝と夕方の利用ニーズが高いことから、専用使用団体(大会、合宿)から要望があった場合は、上記の時間を基本として開場します。また要望に応じて、食堂(朝夕食)、更衣室を開場します。

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

指定項目(3) 利用の調整

〔基本的な考え方〕

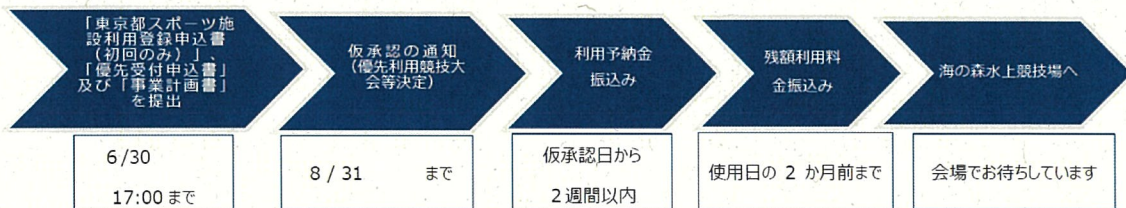
- 当施設の利用調整業務は、「管理運営基準」の規定に基づき、利用者並びに利用希望者に公平・平等な対応を行います。
- 利用の受付に際しては、「東京都スポーツ施設予約システム」(以下「予約システム」という。)を使用し、適正な手続きを行います。また、すべてのスタッフが予約システムの仕組み、操作方法などを理解するために、運営期間前に講習会を実施し、習得します。
- 施設利用予約は、必要事項を記したチェックシートを用いて受付を行うことで、予約の重複防止や利用者との行き違いの防止など、トラブルの未然防止に万全を期します。

〔具体的な取組〕

1. 利用調整業務の流れ

1) 専用使用について

- 優先受付は「使用月の属する年度の前年度の6月30日まで」となっているため、**各競技団体とのスケジュール等調整会議**を4月頃に実施し、各団体同士の調整の場として活用していきます。参加団体は、ボート、カヌー、ドラゴンボート、トライアスロンなどの水上競技団体や東京都教育委員会などを通じて、全国に呼び掛けていただきます。
- スケジュール等調整会議では、各団体の希望日を聴取し、希望日が重複した場合は、当事者同士での交渉を依頼します。
- 大会などの計画書を速やかに提出してもらうため、当競技場ルールの遵守や安全管理、緊急時の対応などの必要事項を示した見本を提供し、スケジュールの確定を急ぎます。
- 使用申請書の提出を受け、これを精査し、内容に問題がなければ仮承認を行います(～8月31日)。
- 仮承認日から2週間以内に利用予納金(利用料金の10%)を納入いただき、確認後、速やかに使用承認書兼施設利用料金領収書を発行し、申請者へ通知します。
- **優先受付のフロー**



- 一般受付は、10月1日より次年度4月の受付を開始するため、9月中に次年度の空き状況を公表します。申込方法は窓口又は予約システムとし、窓口での対応は混雑に備え十分なスタッフ体制を整えます。
- 申込日から1週間以内に利用予納金(利用料金の10%)を納入いただき、確認後、速やかに使用承認書兼施設利用料金領収書を発行し、申請者へ通知します。

2) 個人使用について

- 専用使用がなく、個人での使用が可能な場合に利用を受け付けます。
- 個人使用を促進するため、一般公開日の日程は十分な周知期間を設けて公表します。
- 使用は「管理運営基準」に示されている条件をクリアした方とします。
- 施設の空き状況を予約システムのホームページにて常に公開します。当該ページを当施設ホームページにリンクさせます。
- 予約からのフロー図や「よくある質問(Q&A)」をチラシやホームページでわかりやすく解説し、日常的な利用を促進します。

バリアフリーについて

● 高齢者や障がい者も安心して利用できますか？

車いす対応のシャワー室、オストメイト対応のトイレなどを整備しています。グラウンドスタンドには車いす使用看板(障がい者専用)を設置しています。車いす(無料、先着順)もご用意しています。

● 障がい者の割引はありますか？

障がい者手帳をお持ちの方は受付で手帳を提示いただくことで、当施設の閉鎖コース(個人利用のみ)、貸艇、観席、更衣室、シャワー、トレーニングルームの利用料金が半額(40%)されます。手帳所持者1名につき、介護支援員1名まで無料でご利用いただけます。障がい者は利用料金の2割5分の減額でご利用いただけます。

● AEDの設置について

観音橋1階及びグラウンドスタンド1階にAEDを設置しています。

● 小さなお子様連れでの利用について

● オムツの交換場所や授乳室はありますか？

観音橋2階及びグラウンドスタンド1階に乳幼児のおむつ替えや授乳スペースとして利用できるベビールームを整備しています。

HPの「よくある質問(Q&A)」

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

2. 予約の重複防止と発生時の対応

- 日々の予約状況は受付者、確認者、当日の責任者によるトリプルチェックを行います。もし、窓口と予約システムの重複、窓口内の重複が発生した場合は、正規職員が電話や訪問にて利用者に謝罪します。
- 大会・合宿利用などの予約重複防止策として、申請当日のうちに再チェックを行います。万が一、予約重複により損害を発生させてしまった場合は、責任を持って賠償（準備費、代替費）します。
- 予約の重複や人為的なミスなどが発生した場合は、直ちに対応するとともに、都へ報告します。

指定項目（4）利用料金

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

提案課題2-1(3)別表① 利用料金表

(一) 施設

ア 専用使用の場合の利用料金

提案課題 2-1 (3) 別表② 利用料金表

イ 個人使用の場合の利用料金

(二) 附属設備

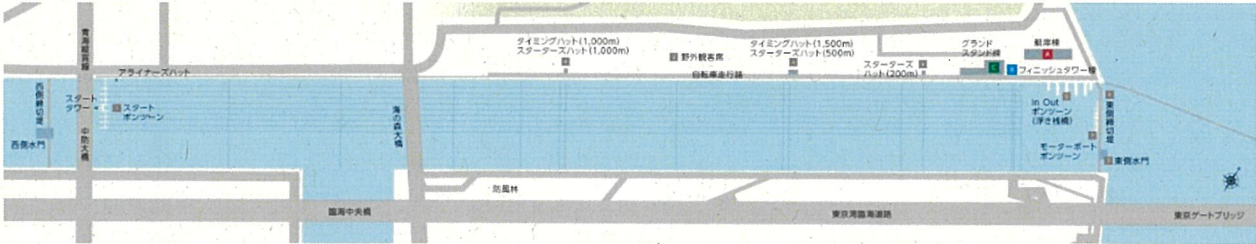
事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

指定項目(1) 競技コース等運営業務

〔基本的な考え方〕

- 当施設の競技コースは、国際基準である2,000mの競技コースを有する長大な水路に整備された空間です。優れた競技環境である一方、事故発生のリスクが高い施設とも言えます。よって、ハード・ソフトの両面において、安全・快適が約束された施設であり、「水上競技の聖地」としてアスリートから都民まで広く親しまれる施設となるよう、適切な管理を実施します。



〔具体的な取組〕

1. 施設の運営・安全管理

1) 利用準備(初回利用)

- 施設の運営にあたっては、競技コースと艇庫、水門・揚排水ポンプに関する**水上競技施設管理マニュアル**を作成し、利用者対応から施設の維持管理まで、すべてのスタッフが統一の認識をもって業務にあたります。
- 利用者に対しては、利用ルールや安全管理、注意事項を記した**水上競技施設利用の手引き**を作成し、初めての利用者を対象に初回講習を実施します。
- 水上競技団体などの専用使用団体であっても、責任者・指導者に対して初回講習を義務付けます。
- 初心者などの個人使用は禁止とします。個人使用グループの場合は、メンバー内の初心者に対して十分な指導ができる競技経験者の有無を確認します。また、中学生以下のグループは保護者の講習受講と利用誓約書の提出を義務付けます。
- 水上競技施設利用のルール**は以下の項目について規則を定め、利用者の安全を確保します。具体については、日本ボート協会や日本カヌー連盟などの協力を得て定めます。

- ①競技コース利用日の受付手順
- ②競技コースの使用を中止する場合(気象状況、雨・風・高潮・雷等の注意報・警報発令状況、施設不良など)
- ③前日及び当日のキャンセルを可能とする気象予報などの条件
- ④競技コース使用時の緊急連絡手段の確保
- ⑤安全監視者・見守り者の配置
- ⑥ライフジャケットの着用
- ⑦航行ルール
- ⑧艇庫利用のルール(貸艇手順、貸艇清掃、出入庫の安全管理など)

水上ルールの説明

2) 利用当日の対応

- 水上競技施設の安全を確認したうえで、その日の競技利用を受け入れます。管理事務所にて受付後、気象予報や水位、利用予約状況を伝え、利用ルール、緊急時の連絡・初動について再確認を行います。
- 利用件数や利用規模、競技種目、利用者のレベルなども伝えることで、安全意識を高めていただきます。
- 初心者・初級者が多い時や競技利用と都民利用(子ども、高齢者、障がい者など)が交錯する場合は、安全監視やポンツーンの整理誘導を行い、競技利用者には都民利用を優先していただきます。
- 気象庁発表の気象予報を注視し、雨雲・雷雲の接近や注意報・警報の発令などを場内放送や声掛けにより周知するとともに、状況により利用の中止や中断を要請します。
- 緊急時の動力船航行に際しては、競技コース利用者の安全を最優先し、競技コース施設への接触事故に留意します。また、動力船航行に伴う波は競技艇などの転覆につながるため、極力波を立てないように航行します。

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

提案課題2〔施設の提供、運営に関する業務〕 2. 施設の運営

- ライフジャケットの着用や液体燃料の取扱など、法令、ルールを遵守します。
- 特に潮位が低い場合、水面までの移動に使うポンツーンの傾斜が大きくなるため、大型艇の運搬時や車いす利用者の利用の際は注意喚起するとともに、必要に応じてサポートを行います。
- 競技コース内の水質データ（溶存酸素量など）を定期的に測定し、水質の把握にあたります。

2. 施設の維持管理

- 競技コース施設は、コースを明示するブイ、消波装置、ポンツーン、避難はしご、護岸など、小さな異常が大きな水難事故につながる恐れがあるため、常に正常な状態、安全な状態を維持する必要があります。異常の早期発見・早期対応を基本とし、毎日の巡回点検を欠かさず行い、当日の点検は競技コース利用の開始時間前に実施します。
- 修繕を必要とする事象については、都と協議のうえで、対応方法や利用の可否を判断します。
- 海水・潮風・波浪・高潮などの環境条件が、施設の劣化の進行度、不具合・故障・破損の発生にどのように影響しているかを把握するため、記録写真や管理台帳への記録など、もれのないよう実施します。
- 各点検結果を記録した報告書を作成します（適宜記録写真を撮影）。
- 修繕及び消耗品の交換などの実施記録を管理台帳に記録します。
- 競技コースでは春から夏への水温の上昇とともにポンツーンなどの縁にカキ殻などの付着が多くなり、ボートやカヌー艇の乗り降り時に艇が傷付く恐れもあるため、付着状況を観察しながら清掃を行います。
- スタートポンツーンのスライド部について、カキ殻などの付着により動かなくならないよう、定期的に動作確認を行います。



競技コース点検

● 点検内容

点検の種類	頻度	主な内容
巡回点検	毎日	水上競技施設の目視点検（水上施設は護岸から双眼鏡で確認）
日常点検	週1回	水上競技施設の目視点検、適宜触診（動力船による）
護岸点検	月1回	水路護岸の亀裂や破損などを目視にて点検
臨時点検	台風・高潮発生後	巡回点検又は日常点検レベルの点検

3. 水上競技団体の利用調整

- 専用使用による大会利用や合宿・研修などの団体利用に際しては、事前に同日の個人利用やスポーツ振興事業による利用に対しての配慮と、参加者への周知を依頼します。また、専用使用の規模・人数が少ない場合は、個人使用の利用枠を可能な限り開放していただくよう依頼します。
- スポーツ振興事業や水上競技普及啓発にご協力いただき、団体のイメージアップを図ります。
- 実施計画書には、水上競技施設利用のルールの遵守と緊急時の対応、災害時の対応、設営・競技・撤収時の安全管理についての計画を記していただきます。
- とりわけ、安全を確保するため**競技コースの航行ルール**の徹底を要請します。また、水上競技団体やアスリートの意見を取り入れ、適宜見直しを行い、安全性の向上を図ります。

競技コースの航行ルール	コース設定	①航行レーンは時計回りを厳守 ⇒ 正面衝突の防止 ②競技別に航行レーンを指定 ③低速・準高速・高速レーンを設定 ⇒ 後方からの衝突を防止 ④コース両端に転回エリア、その手前に注意エリアを設定 ⑤転回エリアに隣接して停止・休憩エリアを設定 ⑥色や大きさを工夫し、目立つ看板やブイを設置
	ルール	・原則としてコース途中での転回は禁止 ・転回エリアでは全艇徐行とし、手前の注意エリアからは十分減速して進入する ・高速レーンは途中停止禁止、後続に追いつかれた場合はコースを譲る ・準高速レーンは後続がいけない場合に限り、スタート練習のための一時停止が可能 ・回漕レーン（コースレーン外）は長時間の停止が可能 ・2艇以上の並走、競走については先行する艇がいけない場合に限る など

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

指定項目(2) 水門・揚排水ポンプ運営業務

〔基本的な考え方〕

- 当施設の水門・揚排水ポンプ設備は、通常時の開門状態から水門を閉門することによって水上競技コースを静水の状態にし、ポンプ稼働により一定の水位を保つことで、競技に最適な環境をつくり出す施設です。また、海水の入れ替えにより水質を改善するほか、気象の影響による状況変化に対して、適正な水位に調整する機能を持っています。よって、国際水準の競技環境を維持するために、細やかな点検と適期の操作、保守管理、安全管理を徹底します。

〔具体的な取組〕

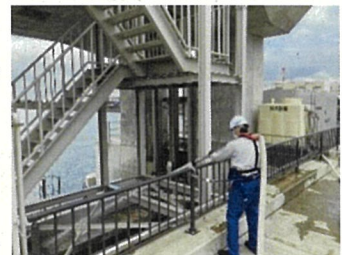
1. 施設の運営

- 競技コース利用のスケジュールを把握し、日々、水位・水質の確認を行い、最適な競技環境を維持するための措置を講じます。
- 水門の開閉や揚排水ポンプの稼働にあたっては、利用予定者の水位・水質に対する意向・要望に沿ったコース状態を維持します。また、気象の影響などにより臨機の措置を要する場合は、都の承諾を得たうえで実施します。
- 競技コースの利用が高潮・風雨などで困難な場合は、利用予定者に対して十分な説明を行い、了承を得ます。
- 水門の開閉と揚排水ポンプ運転は、大会開催前後と定期運転時とします。
- 水門・揚排水業務責任者は業務を統括・監督し、作業は専門技術者によるものとします。



水門(西側)全景

作業責任者	監視室にて、操作指示、作業の中断・中止判断、異常発生時の対応・報告など、作業全体を指揮し安全管理、品質管理を徹底する。
運転技術者	水門開閉操作や揚排水ポンプ稼働を行い、動作状況(動作表示ランプ)・制御盤警報・電流値などを監視する。
安全技術者	水門周りにて、開閉動作、異常、異音、振動などの異変を確認するとともに、船舶や第三者の接近に対し警告を行う。



水門洗浄作業

- 運転作業日の日報及び各点検報告書を作成します(適宜記録写真を撮影)。
- 修繕及び消耗品交換などの実施報告書を作成し、管理台帳に記録します。

2. 安全管理

- 水門・揚排水ポンプは、異常の早期発見・早期対応を基本とし、毎日の点検を欠かさずことなく実施します。
- 水門の開閉動作及び揚排水ポンプ運転時は、水陸からの第三者の進入を防止するため、適切な安全措置を講じます。常に信号灯、通告警告板、スピーカーなどの保安設備を正常な状態に維持します。
- 台風・大雨などにより高潮警報の発生が予想される場合、並びに警戒態勢時は、必要に応じて24時間体制で管理し、速やかに水門開閉・排水ポンプの操作を実施できる体制を執ります。また、護岸・構造物・競技コース施設の状態に注視します。
- 日々、気象庁の高潮関連情報、潮位観測情報、警報・注意報の情報を逐一確認し、すべてのスタッフに共有することで、巡回点検や利用者の安全確保を徹底します。
- 専門技術者やスタッフの転倒や挟まれなどの労働災害防止のため、段差や開口部などに注意喚起のための表示を行います。



通船警告表示板点検



稼働部巻込注意の表示

事業者名・団体名	海の森水上競技場マネジメント共同企業体
----------	---------------------

3. 専門技術者による点検

点検の種類	頻度	主な内容
巡回点検	毎日	東水門・揚水ポンプ・西水門・排水ポンプの目視点検
日常点検	週1回	東水門・揚水ポンプ・西水門・排水ポンプ、制御盤・分電盤、監視室の点検
定期点検	月1回	日常点検では実施しないオイル点検、開閉装置点検、ワイヤー点検など、監視室点検
定期運転	月1回	水門開閉動作確認、門扉清掃、揚排水ポンプ稼働確認、監視室機器の動作・表示確認
臨時点検	適時	台風や高潮などの災害発生後に実施する日常点検レベルの点検

4. 運営維持管理のポイント

作業内容	主な対応
水門の門扉稼働	<ul style="list-style-type: none"> 水門開放は外海の船舶の有無を目視で安全確認を行ったうえで行う。 水門門扉の端にあるガイドレールの隙間に漂流物が溜まるため、動作前には確認を行い、除去したうえで門扉を稼働させる。 外海と競技場側の潮位差がある場合は、強い水流が水上設備に影響する可能性があるため、水流を確認しながら門扉を少しずつ時間をかけ徐々に上げる。 水門開放後は、海水による門扉の腐食を防ぐため上水で洗い流す。
気圧による潮位変動	<ul style="list-style-type: none"> 気圧の影響により潮位予報と実際の潮位が大きく異なることがあるため、当日の現地潮位を確認したうえで作業を行う。
台風や豪雨などへの対応	<ul style="list-style-type: none"> 台風の影響による施設の損傷を防止するため、台風の接近が予想される場合は水門を閉鎖する。また、競技場内で生じる風波で高波が発生することが想定されるため、場内の水位を定められた水位に設定する。 水門閉鎖時は、豪雨などの雨量によって競技コースの水位上限を超えないように、予め自動排水を設定しておく。



安全及び水流の確認

指定項目（3）艇庫運営業務

〔基本的な考え方〕

- 当施設の艇庫は、個人所有の艇と貸出用の都所有の艇を保管する場所であり、第三者による危害、汚損、破損、盗難などが発生しないよう、細心の注意を払い、責任を持って管理します。
- 利用者や作業員による不測の事故を防止するため、利用者のルールとスタッフのルールを定め、艇庫内にわかりやすく掲示・アナウンスするなど、安全管理・防犯管理の意識を徹底します。

〔具体的な取組〕

1. 施設の運営

- 毎日、艇庫及び艇の状態を点検します。異常を発見した場合は速やかに艇庫業務責任者又は施設長に報告し、対応します。
- 毎日、整理整頓を行い、人と艇の十分な通路を確保します。
- 1日のスケジュール、業務の手順を含めた業務マニュアルを整備し、従事者のレベルや説明に差異をつくらないようにします。
- 利用者以外の無断立ち入りを防止します。見学希望者には艇をはじめ備品に不用意に触れないよう指導します。
- 艇の上げ下ろしの際は、艇種、収納ラックの高さに合わせた人数（2人以上）で実施するよう指導します。
- 貸出艇と個人所有艇の収納場所は、ゾーンを区別して保管し、不測の事故やトラブルを防止します。
- 競技大会や合宿利用、貸出艇を使用するイベントにより利用が集中する場合は、艇庫スタッフだけでなく他のスタッフも動員して対応します。また、必要に応じて開場時間を早め、安全利用を確保します。
- 貸出艇利用者の主なルール**

- ・艇庫スタッフに声を掛けてから始めてください。
- ・指定の艇を使用してください。その他の艇には触れないでください。
- ・艇の持ち方、運び方は、艇庫スタッフの指示に従ってください。
- ・ライフジャケットは体に合ったサイズを着用してください。
- ・オール、パドルの先端に注意してください。（人・物の事故防止）
- ・壊れた時、異常を感じた時はスタッフにお伝えください。
- ・使用後の清掃をお願いします。



床面の水の拭き取り
（転倒防止）



貸出艇の対応

2. 貸出艇の点検

- 貸出艇は、艇体の破損・亀裂、リガーの曲折、ラダー・シートの可動確認、ボルト・ナット・ネジの増し締めなど、週1回以上の日常点検と貸出前点検、貸出後点検を実施します。
- 造船所などの専門技術者による定期点検（年1回）を実施します。



貸出艇の点検

3. 利用者の事故防止策

- 収納ラック・バーによる頭部打撲を防止するため、注意喚起表示やクッションカバーの設置を行います。
- 段差による転倒を防止するため、注意喚起テープや簡易スロープを設置します。
- 濡れた床面での転倒防止のため、こまめに水切りやモップがけを行うほか、必要な箇所に滑り止めテープを貼り付けます。
- 艇や資機材運搬時の腰痛発症を防止するため、リヤカーや運搬台車の利用を促します。
- オールやパドル、資機材の立てかけ防止、不安定な収納を防止します。



艇の収納ラックの
注意喚起表示

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

指定項目(4) トレーニングルーム運営業務

〔基本的な考え方〕

- トレーニングルームの運営にあたっては、世代や嗜好にかかわらず誰でもトレーニングに取り組むことのできる安全で快適な環境づくりと、初心者からアスリートまでレベルに応じたサポートを行います。

〔具体的な取組〕

1. 安全・安心・快適な利用の提供

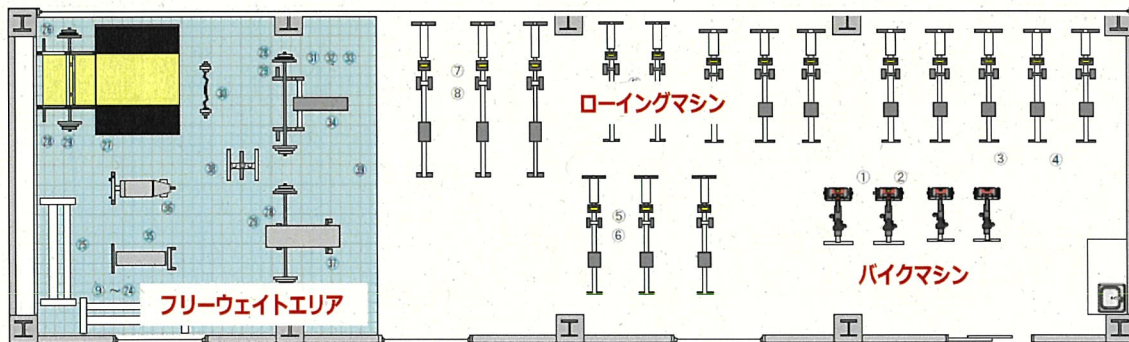
- 施設利用開始前、終了後のマシンチェックと丁寧な清掃を行うとともに、施設点検やアメニティチェックを行います。
- 利用者の体調不良に細心の注意を払います。また、毎日、AED 機器の作動・バッテリーなどのチェックを行います。
- トレーニングルーム従事スタッフは、健康運動・体力づくりなどに関する専門知識を有し経験豊富で信頼できるスタッフを配置します。
- 救急対応などを明確にしたトレーニングルーム管理運営マニュアルを作成し、定期的に見直します。
- 「障がい者スポーツ指導員養成講習会」の受講を推進します。
- スタッフの勤務シフト交代に伴う引継事項の申し送りを徹底します。
- 事故の起こりやすいフリーウェイトエリアは、可能な限り死角をなくした配置とします。
- 担当業務や職階にかかわらず、当施設に従事するスタッフ全員が同じ研修・訓練を行います。そして、トレーニングルームに関する情報のみならず、当施設全体の利用案内や周辺地域の情報など、ガイドを担えるスタッフを配置・養成します。



ローイングマシン



フリーウェイトエリア



2. 利用者へのサービス

- 初心者を対象とした初回オリエンテーションを実施し、安全に施設を利用していただくとともに、効果的な運動方法、メニューを提供します。
- ローイング・バイク・ウェイトのトレーニング器材が充実していることから、屋外でのフィットネスと合わせたトレーニングメニューを提案し、飽きさせない継続できるプログラムを提供します。
- 人的なメニュー作成だけでなく、トレーニング方法、種類、効果について SNS を活用した動画配信を実施するとともに、館内掲示を行い、継続に向けた補助機能を提供します。
- トレーニングルーム利用者に、定期的なスポーツ体験プログラムへの参加を促し、新たな交流を積極的につくっていきます。
- 競技を行うアスリートに対しては、フィジカル強化だけでなく、コンディショニングに関するメニューを提供し、定期的な利用につなげ、パフォーマンス向上に貢献します。
- スタッフによる積極的な声掛けで、親しみのある管理運営を行うとともに、安全管理・危機管理につなげます。

ローイングマシンの体験

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

指定項目(5) 宿泊室運営業務

〔基本的な考え方〕

- 宿泊室の運営にあたっては、公共の施設であることを十分認識し、日常的・定期的に必要な保守・点検を行い、安全・快適・清潔な施設環境を維持します。また、利用者満足度の高いサービスを提供することで、スポーツ・レジャー活動が有意義かつ思い出深いものとなるよう努めます。

〔具体的な取組〕

- 宿泊室は、室内やリネンの汚損が頻繁に発生する施設であると認識しており、満足度の低下、苦情の原因となり、利用者に不快な思いをさせるだけでなく、当施設の悪い評判につながります。水浸し状態や毛髪の目立つシャワールーム・洗面台、シミや汚れが目立つベッドルームなどに注視し、きめ細やかな清掃により常に清潔な状態を保ちます。
- 女性が使用する部屋へやむを得ず男性スタッフが入室する場合は、声掛けやタイミングを変えるなどの配慮をします。
- シャワールームや寝室周りなど場所によって拭く布を替えるなど、きめ細やかな清掃を行います。
- 自動掃除機を導入することで、清潔な状態を保つとともに、作業の効率化を図ります。
- 石油由来の樹脂削減のため籾殻などを配合したプラスチック製品や天然コットンを使用したタオルなど、環境にやさしいアメニティを提供します。
- 盗難・盗撮などの犯罪・トラブルを防止するため、頻繁に巡回を行うとともに、声掛けを行います。また、忘れ物の防止についても注意喚起を行います。
- 災害発生時は危機管理マニュアルに基づく間違いのない初動対応を行います。特に夜間の宿泊室対応スタッフは、災害発生時の訓練や研修を定期的に実施し、施設長や業務責任者など緊急参集者の到着まで、混乱制御、避難誘導に万全を期します。
- 競技大会では、競技の合間の休憩やストレッチ利用のため、企業や学校団体の単位で個室利用のニーズがあります。これらのニーズを受け、宿泊室を日中の時間帯に各団体へ貸し出すデユースサービスを行います。なお、宿泊室の目的外使用となるため江東区保健所へ届出を行ったうえで実施します。



ベッドなど室内の点検



業務用自動掃除機



洗面台の清掃

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

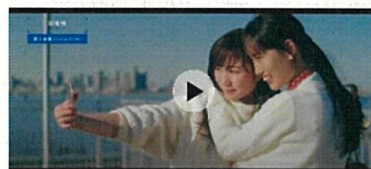
指定項目(6) ユニークベニューや各種イベント等の開催地としての活用にかかる業務

〔基本的な考え方〕

- 当施設の年間利用者数目標 35 万人を達成するためには、多様な利用機会を都民に提供し、利用者の裾野を拡大していくことが重要です。ウィズ/アフターコロナにおいて、ニューノーマルに対応した利用環境の確保をはじめ、ユニークベニューに適した施設であることを広く発信します。
- 当施設の多様な機能と屋内外の空間を一体的に利用できるという優位性を PR し、ユニークベニューや各種イベントの内容に応じた利用方法を提案するなど、当法人の持つ全国ネットワークを生かした誘致・マッチング活動を展開します。

〔ユニークベニュー施設としての認知度向上に向けた取組〕

- 当施設の非日常感にあふれる空間が MICE の価値を高めるという認識のもと、ホームページやマスメディアの活用、SNS などのシェアードメディアによる情報の受発信を強化し、多様なステークホルダーとのタッチポイントの拡大、利用価値の共有を図ります。
- また、**イベント実施の手引き**や**イベント実施プラン**を作成し、マスメディアへのプレスリリース、旅行会社・イベント事業者などへの誘致活動を行います。
- テレビや映画、ミュージックビデオ、雑誌などの撮影行為を積極的に受け入れます。(公財)東京観光財団の「東京ロケーションボックス」への登録や施設見学、体験取材など、マスメディアとのつながりを重視し、信頼関係を構築していきます。
- 「都立施設ユニークベニュー施設(屋外空間)」及び「観光庁ユニークベニュー施設」の登録に向けた働きかけを行います。当法人は、既登録施設である都立夢の島公園アーチェリー場や、札幌市、奈良県、佐賀県の都市公園の管理運営を行っており、効果的な活動が可能です。
- 当法人は、「東京都海の森倶楽部」のメンバーの一員として、エリア一帯の利活用に関する事業に参画しています。今秋、海の森公園で開催予定の音楽とキャンプのイベント『TOKYO ISLAND』と連携した体験イベントを計画しており、当施設の認知度向上とユニークベニュー誘致のきっかけとします。



PR 動画の制作・配信



TOKYO ISLAND
(イベント実行委員会 HP より)

〔当法人の実績〕

- 当法人は、全国の国営公園・都市公園などにおいて、多種多様なユニークベニューの経験とノウハウを有しています。新型コロナウイルス感染症の影響により縮小や中止を余儀なくされた事業もありますが、全国で築いたネットワークを強みとした誘致活動を展開することができます。

音楽ステージイベント
(当施設再開業イベント)



日本庭園ライトアップ
(東京観光財団支援事業)

30 万人規模の野外フェス
(茨城県ひたちなか市)



震災復興祈念事業
(宮城県石巻市)

35 万人規模のフードフェ
スティバル(立川市)



消防出初式や大規模訓練
(全国各地)

マルシェ(全国各地)

フォーラム(代々木オリンピ
ックセンター)

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

指定項目（1）受付案内

〔基本的な考え方〕

- 当法人は、公共施設を管理運営する者として自覚と責任ある行動をとるとともに、利用者との接点とコミュニケーションを大切に“顔”の見える管理運営を実践します。

〔具体的な取組〕

1. 職員・スタッフによる親切丁寧な利用者対応

- 利用料金を徴収する施設においては、予約方法や利用ルール、キャンセル方法など、利用者との行き違いが生じる可能性があるため、**利用案内マニュアル**や「よくある Q&A」を作成のうえで、**業務基礎研修**を修了したスタッフが適切な案内を行います。
- 独自の接客接客マニュアル**により、基本的な接客接客技術に加え、苦情・クレームの対応方法を習得します。なお、すべてのスタッフが「サービス接客検定（2級又は3級）」の取得、「認知症サポーター養成講座」の受講を行います。



ピクトグラムで指差し会話ができるユニフォームとチャーム

2. 多様な利用者への配慮と適切な対応

- 障がいの有無、国籍・性別・年齢のみならず、LGBTQ+、人種、言語、思想、信条の違いがあることを十分理解し、その**多様性を尊重した対応を徹底**します。
- 「**公共サービス窓口における配慮マニュアル（内閣府）**」を活用し、思い込みや押し付けではなく、利用者が必要とされているサポートを行います。
- 国内の公共施設などで約 15 万人が活動している「**サービス介助士**」の有資格者を配置し、高齢者や障がい者の利用をサポートします。
- ホームページやリーフレット、表示物の多言語化に加え、多言語翻訳アプリケーションを活用するなど、外国人対応を強化します。
- 視覚障がい者（点字、白抜き文字）、外国人（多言語、ピクトグラム）と指で会話ができる**コミュニケーションボード**を数種配備します。



5か国語のリーフレットと多言語翻訳機

主な取組・対応例	快適な移動と滞在の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者・障がい者・介添え者へのアンケートやヒアリングの実施 ・「建築物移動等円滑化基準チェックリスト」（バリアフリー新法）に基づく施設改善 ・未舗装園路、行き止まり、急勾配園路、階段迂回路、休憩施設、多目的便所などの情報を示したサポートマップを作成・提供 ・車いす、ベビーカーの貸出 ・障がい者団体への利用方法のコーディネートや車両誘導など ・車いす体験・高齢者疑似体験などの研修の実施
	わかりやすい案内誘導と注意喚起	<ul style="list-style-type: none"> ・サインとリーフレット・ホームページとのピクトグラムやデザインの統一 ・表示内容は、ピクトグラム、文字サイズ、カラー、多言語などの最適化を図り、景観にも配慮して作成・設置（「標準案内用図記号ガイドライン」や「観光活性化標識ガイドライン」などを参考） ・危険を知らせる表示は、子どもにもわかりやすいイラストや平仮名を使用

3. 『ユニバーサルデザインチェック』の実施

- 当法人代表は、管理運営する国営公園において、障がいのある子どもたちの野外活動や障がい者スポーツを支援するNPO法人と芸術大学との協働により、多角的・専門的な視点で施設を点検・評価する『**ユニバーサルデザインチェック**』を行っています。
- 当施設においても**障がい者競技団体などとの協働**により、このチェックを実施し、ハード・ソフト両面で改善していきます。また、大規模な改修を要する事案については、都に提案します。

学生と車いすの子どもによるUDチェック

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

指定項目(2) 苦情・要望等に対する対応等

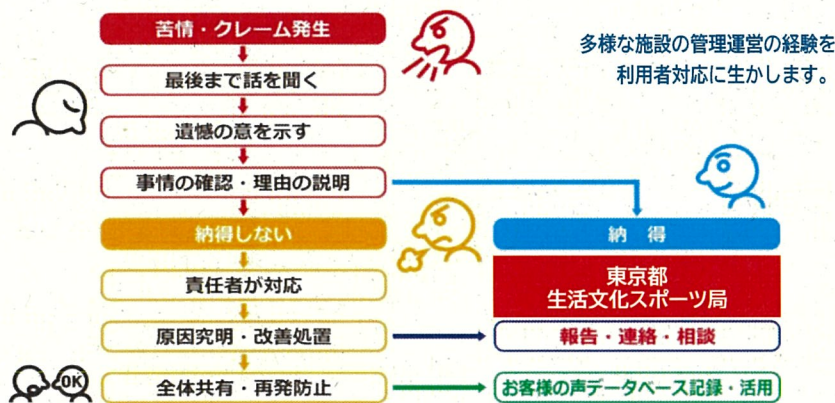
〔基本的な考え方〕

- 利用者からの苦情・要望は、都民サービス向上に必要な改善提案であり、当施設のリピーターを獲得する絶好の機会であるとの認識のもと、利用者満足度向上のための大切なヒントとして扱います。
- 苦情・クレーム・トラブルは、正規職員が対応することをルールとし、責任の所在を明確にした体制を執ります。

〔具体的な取組〕

1. 苦情・クレーム・トラブルへの真摯な対応

- 利用者の苦情などは、施設長又は施設長補佐が真摯に対応し、謝罪や説明、改善策の検討・実行など、利用者の信頼を得て今後の来場につながるよう尽力します。理解が得られない利用者に対しては、納得いただくまで誠意を持って対応します。
- 危険・迷惑となっている利用者や、こちらの要請に応じない利用者に対しては、施設長又は施設長補佐が対応にあたり、毅然とした態度、冷静な判断により事態の収束を図ります。また、利用者同士のトラブルは、公正中立な立場で双方の意見を傾聴することを重視し、解決に導きます。
- 苦情などの発生原因や対応方法の検討、改善策の実施に至る過程は、施設長が管理し、すべてのスタッフで再発防止に取り組みます。その内容と対応結果はデータベース化し、OJTへの活用、対応スキルの研鑽を図ります。
- 解決が困難な場合や長期化する場合は、都に発生の経緯や経過などを正確に報告します。また、当法人が有する全国の公共施設、スポーツ・レジャー施設での対応事例を活用し、解決策を検討・協議します。
- 苦情・クレームの対応フロー



大型レジャープール



オートキャンプ場

2. 苦情・クレーム・トラブルの未然防止

- 当施設のルールや適正利用の重要性を理解のうえで、多様な利用者に対して公平・平等な対応を徹底するとともに、スタッフの説明不足や言葉遣い、態度に起因する苦情などを防止します。
- 2kmの水上市競技コースをはじめ多様な施設が点在し、苦情などの要因の見落としや利用者との行き違いが生じやすい状況にあります。これまでの管理運営経験から、苦情などの発生ポイントを把握するとともに、接客接客マニュアルや接客接客研修により適切な対応を習得します。
- 当施設では、以下の行為に起因した苦情などが発生する恐れがあります。これらは不平等・不満を招くだけでなく、事故・事件の要因にもなるため、すべてのスタッフで利用者指導を行います。
- 主な苦情・クレーム・トラブルの要因

危険行為	航行ルールを無視した水上利用／護岸沿いの安全防護柵外へ出る行為／ドローンの使用／ゴルフ・硬球の使用／自動二輪の場内進入／閉場施設の夜間進入／ペットのノーリード／花火や無許可エリアでのバーベキューなどの火の使用 など
迷惑行為	艇庫への無断の出入り／宿泊時に深夜まで騒ぐ行為／ごみの不法投棄／喫煙・タバコのポイ捨て／駐車場内の迷惑駐車、駐車場以外の駐車／自動車の夜間駐車（停め置き）／動植物の採取／橋上からの釣り／無許可の占有・使用（イベント、物販など） など

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

指定項目(1) スポーツ振興事業

〔基本的な考え方〕

- 「東京都スポーツ推進総合計画」の目標である「スポーツの力で都民のスポーツ実施率 70%を達成し、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも」の実現のため、子どもから高齢者、障がい者までが気軽に楽しめる、スポーツ実施率向上と心と体の健康に貢献する事業に取り組みます。
- 世代や社会のニーズを捉えた魅力的なスポーツ体験プログラムを提供し、東京 2020 大会を応援していた人、感動をもらった人から、スポーツをする人、みる人、支える人に変わる“きっかけ”づくりを行います。
- スポーツ体験プログラムの実施にあたっては、競技経験者や指導資格を持つ講師による指導、適切な新型コロナウイルス感染症対策などを実施し、参加する人にも見守る人にも安心と信頼を提供します。

〔具体的な取組〕

1. スポーツ体験プログラムの主な内容

水上競技の体験教室	ボート、カヌー、ドラゴンボート、SUP
子ども向けの体育教室	室内(マット、跳び箱、平均台)、屋外(かけっこ、体操、ランバイク)
フィットネス・トレーニング	ウォーキング、スロージョギング、ヨガ、健康体操
レクリエーション	誰でもできるニュースポーツ(ボッチャ、フライングディスクなど)

2. スポーツ体験プログラム実施のポイント

1) 幼児・子ども

- 成長に合わせてレベルアップできるプログラムとします(初心者・初級者・中級者)。
- スポーツだけでなく、自然・環境・多世代との交流により、社会を学び、人間性を育む場とします。
- 都会でありながら、気軽・手軽に水上スポーツが体験できる貴重な場とします。
- 保護者が安心して参加させることができるよう、一人ひとりに配慮した安全管理、見守りを徹底します。
- 子どもたちに未来のメダリストの夢を抱かせるプログラムとして「志教育」を推進し、学校を中心に PR を行います。

ランバイク体験

<社会的背景と期待される効果>

- ・ 基礎的な体力・運動能力の低下を受け、文部科学省は身近なスポーツ活動の場の確保に取り組んでいる。
- ・ 文部科学省は「子どもが道徳観・正義感を身につけるには、野外で自由に遊ぶ機会を持ち、達成感や感動する体験を豊富に持つ事が緊急の課題」としている。
- ・ 大会観戦も含め、次世代のトップアスリートを目指す“きっかけ”となり、競技人口の増加、アスリート育成、競技力向上につながる。

2) 女性

- 体だけでなく心もリフレッシュできる体験プログラムを提供します。
- 高品質なフィットネスプログラムを廉価で提供し、先進フィットネスから定番フィットネスまで幅広くラインアップします。
- 一人でも参加しやすい女性限定のプログラムを設けるなど、働く女性から主婦、子育て世代(子どもと一緒に参加)、高齢者など、平日・休日のニーズにあわせたプログラムを提供します。



ヨガ体験(シーサイドヨガ)

<社会的背景と期待される効果>

- ・ 女性が働きやすい環境づくりが進められ、余暇の時間を有意義に使いたいというニーズが高まっている。
- ・ 職場・家庭・子育てなどで活躍する女性が参加しやすい体験プログラムとすることで、心身のリフレッシュやコンディション維持に役立つ。

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

3) 働き世代

- 子どもや家族とのコミュニケーションを深めていく機会や、体力づくりを行えるワーケーション環境を提供し、幸せの源である家族の心と体の健康が保たれた生活に貢献します。
- 友人や職場仲間とのチームワークで楽しむボートや、一人の時間を自由に楽しむカヌーなど、気力と体力の維持、ストレスの発散に効果をもたらすプログラムを提供します。
- 充実した休日を過ごしていただくため、半日で楽しめる体験プログラムを設定し、周辺施設との相互利用を促進します。

ドラゴンボート体験

<社会的背景と期待される効果>

- ・要介護となるリスクの高い「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）」の人口は、予備軍を含め全国で4700万人（40歳以上の40%）と推定されている。
- ・健康運動活動は障害発生率の低減と年間5千億円以上の医療費削減効果があるといわれている。（厚生労働省発表）

4) 高齢者

- トレーニングルームなどのリピーター獲得に向け、一人でも継続して参加できる健康運動プログラムを提供します。
- 体の健康増進効果だけでなく、いきがいややりがい、心の健康につながるプログラムを提供します。
- 体験プログラムを通じて指導員や参加者同士との交流を生み出し、コミュニティ形成に寄与します。

<社会的背景と期待される効果>

- ・超高齢社会を迎え、無縁社会・人間関係の希薄化が進行し、災害時の対応や孤独死などが社会問題となっている。
- ・体験プログラムへの参加をきっかけに、新たな人間関係の構築に寄与し、「絆」、「つながり」を大切にしたい社会の実現に貢献。

ノルディックウォーキング

5) 障がい者

- 野外活動の楽しさを満喫してもらえるよう、障がいの程度に合わせた最良のサポートを提供します。
- いきがいややりがいの醸成、障がい者アスリートを目指す“きっかけ”づくりを目指します。
- 心の健康につながる健常者との交流、多世代との交流を促進します。
- 介添え者や障がい者福祉団体にとって利便性・安全性の高いサポートを充実します。

パラボート

<社会的背景と期待される効果>

- ・障がい者がスポーツに参加する“きっかけ”となり、競技人口が増えることで、パラスポーツの普及啓発に貢献。
- ・体験プログラムを通じて、障がい者のやりがい、いきがいを醸成し、共生社会の実現に貢献。

6) 指導員

- 水上競技団体との連携、指導員派遣により、スポーツ体験プログラムを実施します。
- 指導員・関係者の指導力や競技力の向上、参加者同士の交流によるネットワークの強化を図ります。
- 指導員として、やりがいや誇りを感じてもらえる魅力的なスポーツ体験プログラムを実施します。

<社会的背景と期待される効果>

- ・経験豊富な水上スポーツ指導員は、競技だけでなく趣味として楽しむ人々にとって必要な存在となっている。
- ・指導員養成の場として定着し、指導員による水上スポーツの技術伝達、安全に対する意識啓蒙を行い、安全に楽しめる水上スポーツを体験できる機会の創出、普及啓発に貢献。

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

提案課題3〔スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務〕 1. 事業の提供

提案課題3-1(1)別表 スポーツ振興事業の事業実施計画〔令和5年度(2023年度)〕

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	対象層	時期	1事業当たり		収支計画			
			回数	定員	参加料/人	支出合計	講師費用	材料費	その他※
1	【水上競技の体験教室】 ◆ボート体験教室 ◇目的:競技の普及、当施設の認知度向上及びリピーター獲得 ◇内容:インストラクター指導のもと、初めての方から経験者まで、安全安心に気軽に参加できる体験教室を開催。	全世代	4~10月	224		支出合計	講師費用	材料費	その他※
			28			収入合計	参加料	協賛金	その他※
2	【水上競技の体験教室】 ◆カヌー体験教室 ◇目的:競技の普及、当施設の認知度向上及びリピーター獲得 ◇内容:インストラクター指導のもと、初めての方から経験者まで、安全安心に気軽に参加できる体験教室を開催。	全世代	4~10月	448		支出合計	講師費用	材料費	その他※
			28			収入合計	参加料	協賛金	その他※
3	【水上競技の体験教室】 ◆ドラゴンボート体験教室 ◇目的:競技の普及、当施設の認知度向上及びリピーター獲得 ◇内容:インストラクター指導のもと、初めての方から経験者まで、安全安心に気軽に参加できる体験教室を開催。	全世代	4~10月	840		支出合計	講師費用	材料費	その他※
			28			収入合計	参加料	協賛金	その他※
4	【水上競技の体験教室】 ◆SUP体験教室 ◇目的:競技の普及、当施設の認知度向上及びリピーター獲得 ◇内容:インストラクター指導のもと、初めての方から経験者まで、安全安心に気軽に参加できる体験教室を開催。	全世代	4~10月	140		支出合計	講師費用	材料費	その他※
			28			収入合計	参加料	協賛金	その他※
5	【子ども向けの体育教室】 ◆室内プログラム(マット、跳び箱、平均台)、屋外プログラム(かけっこ、体操、ランバイク) ◇目的:子どもの体力づくり、体を動かすきっかけを提供 ◇内容:インストラクター指導のもと、安全安心に楽しめる各種プログラムを開催。	幼児 小学生	通年	240		支出合計	講師費用	材料費	その他※
			24			収入合計	参加料	協賛金	その他※

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

提案課題3 [スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務] 1. 事業の提供

◆ 内容

単位:千円

NO	事業名及び内容	対象層	時期	1事業当たり		収支計画			
			回数	定員	参加料/人	支出合計	講師費用	材料費	その他※
6	【フィットネス・トレーニングプログラム】 ◆ウォーキング、スロージョギング、ヨガ、健康体操 ◇目的:体と心の健康増進、コミュニティ形成、リピーター獲得 ◇内容:インストラクター指導のもと、当施設の開放感のある空を見ながら、あるいは競技コースを活用した各種フィットネスプログラムを開催。	全世代	通年			支出合計	講師費用	材料費	その他※
			24			収入合計	参加料	協賛金	その他※
7	【レクリエーション・プログラム】 ◇目的:コミュニティ形成、体づくり、リピーター獲得 ◇内容:天候に合わせて屋内外で気軽に楽しめるポッチャやフライングディスクなどのニュースポーツ体験プログラムを開催。	全世代	通年	240		支出合計	講師費用	材料費	その他※
			24			収入合計	参加料	協賛金	その他※
総合計			実施回数	参加人数		支出合計①			
			184	2,372		収入合計②			

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

指定項目 (2) スポーツの日記念事業

[基本的な考え方]

- 都が示した「都民の間に広くスポーツについての理解と関心を深め、かつ積極的にスポーツをする意欲を高揚するような事業」を実現するため、幅広い世代の健康・体力づくりはもとより、少子高齢化やダイバーシティへの対応、さらにはSDGs推進につながるイベントを実施します。
- また、東京2020大会のレガシー継承をはじめ、1964年東京オリンピック競技大会を記念して定められた「体育の日」から「スポーツの日」への改称の経緯を伝えるとともに、東京湾や海の森の歴史、地球環境問題を学ぶ機会とします。
- 個人利用者への無料開放にあたっては、公平・平等な利用の確保を徹底するとともに、適切なオペレーションにより、多くの都民が施設を利用できるよう対応します。

[具体的な取組]

1. 『海の森スポーツフェスティバル』の開催

- 水上・陸上・屋内を最大限活用したスポーツ体験フィールドを形成し、誰もが参加できる多種多様なスポーツ・レクリエーションを一堂に会したイベントを実施します。スポーツ振興事業による体験プログラムの中で好評を博しているメニューを中心にラインアップします。
- オリンピアンとの交流イベントや大会関係者によるガイドを実施し、展示物の解説や大会時の様子などを紹介するほか、質問コーナーやトークショーなどにより魅力を伝えます。
- 当法人代表は、東京都や東京都レクリエーション協会との連携による『ニュースポーツ EXPO in 多摩』、日本レクリエーション協会や全国レクリエーション普及団体との連携による『全国一斉あそびの日』など、大規模なイベントを全国各地で開催しており、この経験とノウハウを生かし、質の高いイベントを実施します。

2. 東京2020大会のメモリアルイベントの開催

- 東京2020大会の感動とかけがえのない記憶を次世代に継承するため、「スポーツを、する人・みる人・支える人」に加え、「伝える人」になる機会となるようなイベントを実施します。
- 各競技団体との連携により、記録画像や動画、実物を展示し、東京2020大会の臨場感を伝えられるよう、内容、演出を工夫します。
- 当施設の建設前から工事期間、完成後の写真を使用し、施設整備の経過を紹介する展示を行います。
- 「東京2020×東京1964」と題して、東京1964大会に関する写真や資料を借用し、東京の今と昔、発展の歴史を感じてもらえる展示を行います。
- 2024年のパリ大会や2026年のアジア大会（当法人代表が管理運営する長良川国際レガッタコースがボート・カヌーの会場となる予定）を紹介・解説するコーナーを設置し、関心や応援気運を高めます。
- 競技に使用されたボートやカヌー（同型種）に加え、オールやパドル、ユニフォームなど、競技用具一式を展示します。競技用具は常に最新技術が反映されるため、東京2020大会で導入された技術の解説を添えることにより、将来的に開発される技術と現時点の技術を比較できるようにします。
- 大会時に使用されたフラッグやバナー、看板、表彰台などを都や関係団体から借用し、展示会場の装飾に活用します。
- 大会のパンフレット、チラシ、ポスターなどの印刷物を展示します。

ニュースポーツ EXPO
in 多摩の開催状況

東京1964大会の実物展示

東京2020大会の実物展示

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

提案課題3-1 (2) 別表 スポーツの日事業の事業実施計画 [令和5年度 (2023年度)]

◆ 内容

単位:千円

NO	事業名及び内容	対象層	時期	1事業当たり		収支計画			
			回数	定員	参加料/人	支出合計	講師費用	材料費	その他※
1	【海の森スポーツフェスティバル】 ◇目的:新たなスポーツに触れるきっかけの提供、当該施設の認知度向上、利用促進 ◇対象者:一般来場者及び水上競技者 ◇内容:スポーツの日に合わせ、当該施設の水上市競技場、陸上、屋内をフル活用したフェスティバルを開催。誰もが気軽に参加できる多種多様なスポーツ・レクリエーションの場とし、個人利用施設の無料開放やオリンピックとの交流イベントなども企画。 ※収支は有料プログラム参加者を対象に計上。無料プログラムも実施。	全世代	10月	150		支出合計	講師費用	材料費	その他※
			1回			収入合計	参加料	協賛金	その他※
2	【東京2020大会のメモリアルイベント】 ◇目的:東京2020大会の感動と記憶を次世代に継承 ◇対象者:一般来場者 ◇内容:東京2020大会の記録画像の展示や動画の放映。東京1964大会に関する資料展示もあわせて行い東京の発展の歴史を紹介。競技用具と導入された技術解説の展示。	全世代	10月	1,000		支出合計	講師費用	材料費	その他※
			1回			収入合計	参加料	協賛金	その他※
総合計			実施回数	参加人数		支出合計①			
			2	1,150		収入合計②			
事業者名・団体名			海の森水上競技場マネジメント共同企業体						

指定項目 (3) 自主事業

[基本的な考え方]

- 当施設を持つ空間・機能を存分に活用し、スポーツ・健康・文化をテーマとした多彩なイベントやレクリエーション活動など、都民の来場意欲を誘発する話題性のある取組を展開します。
- 開放感と非日常感のあるオープンスペースでニューノーマルに対応したイベント・プログラムを提供し、多くの人々がいきいきと楽しむことができる場づくりで、新たな利用者層の拡大と全都的・広域的な利用を促進します。
- そして、自然と都市の調和の大切さを実感できる場所として、自然回帰型のアーバン・リゾートを提供し、成熟都市・東京にふさわしい、新たなスポーツ・レジャーの拠点として定着させます。

[具体的な取組]

1. スポーツ・レジャー体験フィールドの創出で利用者層を拡大

1) 子どもたちの記憶に残るキャンプイベントの開催 (7月予定)

- オリンピックとの交流によるカヌーやボートの体験、テント・タープの立て方、野外調理、ナイトハイクなど、親子で参加できるサマーキャンプを「海の日」に実施します。
 - 恵まれた自然環境と都市環境、SDGsをテーマとして、子どもたちが海・生き物に直に触れられる環境学習プログラムを実施します。
- ※水上競技大会開催の場合は日程変更等を検討。海の日(7月第3日曜日)の趣旨：海の恩恵に感謝するとともに、海洋日本国の繁栄を願う日

- ◆当法人代表は、全国の国営公園・都市公園において、宿泊型のキャンプ場(4箇所)、デイキャンプ場(4箇所)の管理運営に携わり、キャンプイベントの企画運営を行っています。
- ◆当法人代表及び構成団体Bのネットワークによりオリンピック、パラリンピックの派遣が可能です。
- ◆当法人代表は、アメリカで開発された環境学習プログラム『プロジェクト・ワイルド』の日本代表団体であり、子どもから大人まで多くの方々に自然・生き物をテーマとした体験プログラムを提供しています。環境省及び国土交通省から環境教育推進法における「人材認定等事業」に登録され、公益目的支出計画に基づき実施し、これまで約2万5千人の指導者を養成しています。

キャンプ講座

生き物とふれあう環境学習プログラム

2) 特別感と開放感を味わえるバーベキューサイトの運営 (10・11・12月予定)

- 良質なアウトドアファニチャーによる居心地の良いデイキャンプや、地場産品を使ったプレミアムなフードメニューなどを提供するバーベキューサイトを運営します。(都のバーベキュー施設整備予定を受けての提案)
 - バーベキューコンロなどの用具レンタルやセッティング、食材の提供、ごみの処分を行う「手ぶらバーベキュー」サービスを実施します。
- ※フリーサイトを設置し「利用者に対するサービス提供事業」に位置づけて実施します。

- ◆当法人代表は、全国14箇所の国営公園・都市公園において、バーベキュー場を管理運営しています。
- ◆当法人代表は、Park-PFI制度による宿泊型グランピング施設やアスレチック施設を管理運営しています。

良質なアウトドアグッズ

3) 水上と陸上のアクティビティの充実 (10~12月予定)

- 「漕ぐ」スポーツ・レクリエーションをコンセプトとして、老若男女が参加できる体験プログラムを定期開催します。
- 水上自転車などのレジャー性の高い水上アクティビティ、BMXやフィットネスバイク、ローラースキー、足の不自由な方でも楽しめるハンドサイクルなどの陸上アクティビティを提供します。

BMX体験

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

4) チャレンジを応援する『海の森アウトドアフェスティバル』の開催
(11月予定)

- カヌーやSUPなどの水上スポーツをはじめ、スラックライン、ホーストレッキング、スポーツカイトなどの体験プログラムを提供し、陸・海・空のアクティビティを1日満喫できるイベントを実施します。
- アウトドアの人気は定着していることから、キャンプやアウトドアクッキング、アウトドアグッズ・ウェアの展示販売、そしてレスキュー・トラブル回避の講座など、幅広い世代が楽しめるイベントとします。
- アウトドアメーカーをはじめ、多様な主体との連携により質の高いアクティビティを提供するほか、フードショップやワークショップ、音楽・ダンスライブなど、地域・都民が活躍する場を創出します。

◆当法人代表は、全国5箇所の国営公園・都市公園において、アウトドア総合イベント『Outdoor Park』を開催しています。ビフォーコロナでは年間10万人を超える来場者を迎えています。

『Outdoor Park』

2. “にぎわい”と“交流”の場を創出し多様な利用を促進

1) 冬季のナイトタイムイベントの開催(12月予定・令和7年度より)

- 観客スタンドやラウンジ、屋上庭園を活用した音楽・映像・ライトアップによる夜間イベントを実施し、ナイトタイムの魅力を生み出すとともに、水上競技オフシーズンの利用促進を図ります。
- 東京ゲートブリッジを背景として、アート性の高いクリスマスツリーやキャンドル装飾など、SNS映えする演出で話題を広く発信します。
- 夜景撮影講座や星空ガイド、クリスマスディナー、ミニシアターなど、冬を楽しむイベントを実施します。

◆当法人代表は、全国16箇所の国営公園・都市公園において、ライトアップ・イルミネーションイベントを開催するとともに、季節に合わせたフード・ギフトを提供しています。



噴水のライトアップとイルミネーション

2) 都民の作品を展示するアートイベントの開催(2月予定)

- 屋内施設を有効活用し、都民や芸術家を志す学生などの写真や絵画、アート作品を展示するプログラムを開催します。
- 教育委員会や学校との連携により、子どもたちの作品展示や写真撮影講座を実施するほか、一般投稿によるデジタルフォトコンテストを実施しホームページで公開します。

3) 施設環境を生かした『海の森ドッグフェスティバル』の開催(3月予定)

- 子育て卒業世代の増加により愛犬家が増えていることから、愛犬家とペットファンが集う体験プログラムを実施します。しつけ方教室やドッグSUP、ドッグフィットネスを開催し、ペットマナーアップの向上も図ります。
- あわせて、ペットグッズの展示販売や愛犬同伴で楽しめるカフェ・フードなど、飲食物販サービスを提供します。

◆当法人代表は、全国9箇所の国営公園・都市公園において、ドッグランを管理運営し、愛犬家向けのイベント・プログラムを実施しています。

多彩な展示プログラム

ディスクドッグショー

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

提案課題3-1 (3) 別表 自主事業の事業実施計画 [令和5年度 (2023年度)]

◆ 内容

単位:千円

NO	事業名および内容	時期回数	1事業当たり		収支計画				
			定員	参加料/人	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
			観客数	入場料					
1	【子どもたちの記憶に残るキャンプイベント】 ◇目的:海をはじめ自然に触れるきっかけを提供、施設の魅力発信 ◇対象者:親子 ◇内容:カヌーやボートの体験、自然やSDGsをテーマとした環境学習、テント・タープの立て方や野外調理などの親子で参加できるプログラム。	7月	100		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		1回			0	収入合計	参加料	入場料	その他※
2	【バーベキューサイトの運営】 ◇目的:利用サービスの向上、施設の魅力発信 ◇対象者:一般来場者 ◇内容:コンロなどの用具レンタルやセッティング、食材提供、ごみ処分を行う「手ぶらバーベキュー」サービスを提供。地場産品を使ったメニューも準備。	10~12月	240		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		期間			0	収入合計	参加料	入場料	その他※
3	【水上と陸上のアクティビティ】 ◇目的:利用サービスの向上、施設の魅力発信 ◇対象者:一般来場者 ◇内容:「漕ぐ」スポーツ・レクリエーションをコンセプトに老若男女が参加できる体験イベント。水上自転車などの水上アクティビティ、BMXや足の不自由な方でも楽しめるハンドサイクル等の陸上アクティビティを提供。	10~12月	250		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		1回			0	収入合計	参加料	入場料	その他※
4	【海の森アウトドアフェスティバル】 ※入場無料 ※収支は有料プログラム参加者を対象に計上。無料プログラムも実施。 ◇目的:施設の魅力発信、リピーター獲得 ◇対象者:一般来場者 ◇内容:カヌーやSUPの水上スポーツ、スラックライン、ホーストレッキングの陸上スポーツ、空を使ったスポーツカイト、キャンプやアウトドアクッキング、ワークショップ、音楽などをあわせた総合イベントを開催。	11月	400		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		1回			500	収入合計	参加料	入場料	その他※
5	【都民の作品を展示するアートイベント】 ※入場及び観覧無料 ※収支は有料プログラム参加者を対象に計上。 ◇目的:屋内施設活用、都民の活躍の場を創出 ◇対象者:一般来場者 ◇内容:都民、芸術家を志す学生、子どもたちの作品を展示。あわせて写真撮影講座などの有料プログラムを開催。	2月	20		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		1回			1,000	収入合計	参加料	入場料	その他※

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

提案課題3 [スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務] 1. 事業の提供

◆ 内容

単位:千円

NO	事業名及び内容	時期 回数	1事業当たり		収支計画				
			定員	参加 料/人	支出 合計	講師 費用	材料 費	施設 利用 料金	その 他※
			観客数	入場 料					
6	【海の森ドッグフェスティバル】 ※入場無料 ※収支は有料プログラム参加者を対象に計上。 無料プログラムも実施。 ◇目的:施設の魅力発信、リピーター獲得、犬と 飼い主のマナー啓発 ◇対象者:愛犬家、一般来場者 ◇内容:愛犬家とペットファンが集うフェスティバ ル。しつけ方教室やドッグ SUP、ドッグフィット ネス、ペットグッズの販売、愛犬同伴で楽しむ カフェなどを提供。	3月	200						
		1回			300		収入 合計	参加 料	入場 料
総合計		実施 回数	参加人数		繰入額①			収入総合計 ③	
		6	3,010		支出総合計② (①を含む。)			差引④ (③-②)	

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

指定項目(4) 周辺連携事業

〔基本的な考え方〕

- 当施設は、「TOKYO スポーツレガシービジョン」の中で「多様なスポーツ体験を提供」を目指す6つのスポーツ施設のひとつに位置づけられています。周辺連携事業にあたっては、これらのスポーツ施設をはじめ、海の森公園や海上公園、都市公園などと連携し、エリア一体となってレガシーの創出に取り組みます。
- 当施設と海の森公園を核とする海の森エリア活性化プロジェクト(仮称)を立ち上げ、当施設と地域の資源を融合させることで新たな価値を創造するとともに、地域社会・都民の参画を促進し愛着と誇りを醸成していきます。

「多様なスポーツ体験を提供」
6つのスポーツ施設

- 海の森水上競技場
- 大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場
- カヌー・スラロームセンター
- 若洲海浜公園ヨット訓練所
- 有明アーバンスポーツパーク(仮称)
- 辰巳アイスアリーナ(仮称)

〔具体的な取組〕

1. 東京2020大会のレガシーと周辺エリアの魅力を伝えるガイドマップの制作

- 6つのスポーツ施設をはじめ、お台場エリアなどの魅力ある資源を紹介するガイドマップを制作し、スポーツ・レジャー利用に役立つ情報ツールとして発信します。コンセプトを「1964から2020へ、江戸前から東京湾へ」とし、東京の今と昔を知ることのできる仕掛けをつくります。
- 当法人代表が持つ環境学習のノウハウを生かし、当施設、カヌー・スラロームセンター、葛西臨海・海浜公園、夢の島公園、東京港野鳥公園などの自然や野鳥、生き物の情報を掲載したガイドマップを制作します。当法人代表と構成団体Bの公園管理運営ネットワークにより、各公園指定管理者などと連携し、湾岸エリアの環境学習フィールドをつなぎます。

環境学習
「いきもの調査隊」

2. 自然環境保全や地域防災につながる連携事業の展開

- 東京都環境局埋立処分場や東京ゲートブリッジなどの都市環境・自然環境を学ぶことができる施設が隣接しているため、当施設の見学と東京2020大会ガイドを加えた教育旅行プランを提案し、教育委員会や学校団体への誘致活動を展開します。
- 東京臨海広域防災公園との連携による防災体験学習を実施し、都民の災害意識の向上を図ります。また、当法人代表が管理運営する石巻南浜津波復興祈念公園・国営追悼祈念施設(宮城県)や高田松原津波復興祈念公園・国営追悼祈念施設との連携による展示・講演会などの交流プログラムを実施し、東日本大震災の記憶と教訓を伝えていきます。

防災体験学習
「そなえパークの日」

3. 海の森公園との相乗効果発揮による価値向上

- 当法人は、海の森公園でのスポーツ・レクリエーションと当施設の自主事業イベントとの共同開催を提案します。これにより、魅力と集客力が大幅にアップし、質の高いイベントを都民に提供することができると考えます。広域的な広報活動や最寄り駅からのシャトルバス運行、臨時駐車場の開設などの対応が可能になります。
- 海の森公園の開園後は、日常的に連携・調整を図ることで相乗効果を得られると認識しますが、とりわけ地震や台風、雷などの災害に対し、具体的な初動対応と事前対策を定めておくことが重要です。そのため、緊急連絡体制、避難誘導ルート、帰宅困難者の受入れ、合同防災訓練などを連携して取り組みます。
- 「東京都海の森倶楽部」のメンバーの一員として、関係者への屋内空間の提供、公園団体利用の雨天時の受入れ、レンタルサイクル、貸出グッズの相互利用を可能とするサービス、管理用資機材の貸し借りなど、利用者の安全性・快適性の向上と業務効率化の取組を提案します。



高田松原津波復興祈念公園

レンタサイクル

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

●海の森公園との連携イベント・事業のイメージ

イベント・事業内容	海の森水上競技場の役割	海の森公園の役割
スポーツ・アウトドア・キャンプ等のフェスティバルイベント	水上スポーツプログラム、都民ステージ 屋内施設・便益施設の利活用	広場・園路でのプログラム 花景色、自然体験プログラム
ライトアップなどのナイトタイムイベント	屋上デッキからの眺望、ライトアップ演出、レストラン・休憩スペース	展望の丘からの眺望、樹木のイルミネーション演出
カヌーアスロン、トライアスロン、マラソン等の競技大会誘致	水上競技コース、ステージ、本部、VIP控え室、宿泊室	陸上競技コース
アウトドア・キャンプ	水上スポーツプログラム、バーベキュー、星空観賞、演奏会	キャンプ、ナイトハイク、ホーストレッキング、夜景観賞
合同防災訓練・防災イベント	海上保安庁訓練、救命講習、セミナー	消防庁訓練、避難誘導訓練、消火訓練、防災学習
環境学習プログラム	「海と生き物」のアクティビティ、座学	「森と生き物」のアクティビティ
野外コンサートの誘致	本部、出演者控え室、宿泊室	会場・ステージ（広場利用）
レンタルサイクル	貸出対応、自転車保管、園路	園路



キッチンカーによる
フードフェスティバル

キャンドルアート
公園の広場・斜面地を
生かした演出

ホーストレッキング
東京2020大会総合馬術
会場であることを継承

都民ステージ

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

提案課題3 [スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務] 1. 事業の提供

提案課題3-1 (4) 別表① 周辺連携事業(収支計画が作成可能な事業)の事業実施計画
[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位:千円

NO	事業名及び内容	時期回数	1事業当たり		収支計画				
			定員	参加料/人	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
			観客数	入場料					
1	【東京2020大会のレガシーと周辺エリアの魅力を伝えるガイドマップ】 ◇目的:地域一体となったスポーツ・レジャー利用の促進、湾岸エリア環境学習フィールドのネットワーク化 ◇対象者:一般来場者 ◇内容: ①6つのスポーツ施設をはじめお台場エリアなどの魅力や資源を紹介するガイドマップを制作。 ②本施設及び周辺施設の生き物情報を掲載したガイドマップを制作。	通年	0						
			0						
2	【環境保全や防災などの社会課題解決につながる連携事業】 ◆施設見学と東京2020大会ガイドを加えた教育旅行プランの提案 ◇目的:教育旅行の誘致 ◇対象者:学校団体 ◇内容:東京都環境局埋立処分地などが隣接している立地特性を生かし、都市環境・自然環境をテーマに当施設の見学と東京2020大会ガイドによる教育旅行プランを造成し、学校団体の誘致活動を展開。	通年	0						
			1,000						
3	【環境保全や防災などの社会課題解決につながる連携事業】 ◆防災をテーマとした展示、体験学習、講演会 ◇目的:都民の防災意識の向上 ◇対象者:一般来場者 ◇内容:東京臨海広域防災公園と連携した防災体験学習や、当法人のネットワークを生かした東日本大震災の記憶と教訓を伝える展示・講演会を開催。	1月	0						
		1回	50						
総合計		実施回数	参加人数		繰入額①			収入総合計③	
		3事業	1,050		支出総合計② (①を含む。)			差引④ (③-②)	
事業者名・団体名		海の森水上競技場マネジメント共同企業体							

提案課題3-1(4)別表② 周辺連携事業(構想段階の事業)の事業実施計画
 [令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位:千円

NO	事業名及び内容	時期 回数	1事業当たり		収支計画				
			定員	参加料/ 人	支出 合計	講師 費用	材料 費	施設 利用 料金	その他 ※
			観客数	入場料					
1	【海の森公園との相乗効果発揮による価値向上】 ◆連携イベントの開催 ◇目的:利用サービスの向上、施設の利用促進、認知度向上 ◇対象者:一般来場者、スポーツ利用者 ◇内容:当施設及び海の森公園をフィールドとしたスポーツ・レクリエーションイベントの共同開催を提案。	通年	-	-					
			-	-					
2	【海の森公園との相乗効果発揮による価値向上】 ◆自然災害発生時など緊急時の連携 ◇目的:安全管理、危機管理の向上 ◇対象者:当施設スタッフ、関係機関 ◇内容:地震や台風、雷などの災害に備えて、海の森公園と連携した緊急連絡体制の構築、避難誘導ルートの確保、帰宅困難者の受入れ、具体的な初動対応などを整備。合同防災訓練を実施。	通年	-	-					
			-	-					
3	【海の森公園との相乗効果発揮による価値向上】 ◆利用者サービスの向上等の取組 ◇目的:利用者の利便性向上、業務効率化 ◇対象者:団体利用者、当施設スタッフ、関係者 ◇内容:海の森公園団体利用者に対して、雨天時の当施設の提供、レンタサイクルや管理資機材の貸し借り等を実施。	通年	-	-					
			-	-					
総合計		実施回数	参加人数		繰入額①			収入総合計③	
		3事業			支出総合計② (①を含む。)			差引④ (③-②)	

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

指定項目(5) 利用者に対するサービス提供事業

[基本的な考え方]

- 当法人は、都市公園やスポーツ施設などの管理運営において高いお客様満足度を獲得しており、当施設においても、スポーツ・レクリエーションの利用環境はもとより、安全・安心・快適・清潔な環境づくりなど、質の高いサービスで多様なニーズに応じていきます。
- 物販やレンタルなどのサービス提供事業は、これまでの経験やノウハウを生かし、安心と快適を提供することを基本とした商品やサービス、料金、オペレーションを展開します。また、第三者モニタリングやアンケート調査により、「お客様の声」をサービスに反映させていきます。

[具体的な取組]

1. 利用者のニーズに応える物販サービスの提供

- 当施設の周辺には、コンビニエンスストアなど物販店舗がないため、栄養補給食品やスナック菓子などを販売するほか、スポーツ・レジャー、体調維持、けがなどに備えた商品を販売します。
- 主な販売品目**

スポーツ	Tシャツ、下着、ソックス、キャップなどウェア類/サプリメント、グラスファイバータオル、トレーニングチューブなどアイテム類/アイシングバッグ、コールドスプレー、サポーターなどケア用品/携帯電話防水カバー
宿泊など	バスタオル、フェイスタオル、ボディタオル、歯ブラシ、ヘアブラシ、コットンセット、カミソリなど宿泊用品
衛生	紙おむつ、ウェットティッシュなど衛生用品/日焼け止めクリーム、虫よけスプレーなど医薬部外品



環境にやさしい宿泊用品

2. 自動販売機の設置

- スポーツドリンクを中心に、各種メーカーの商品を取り揃えたミックス機を設置し、飲料のほか、エナジーバーやパン、スナック類なども提供します。
- ユニバーサルデザインや災害支援、電子マネー対応型の機種を導入するほか、寄付型の機種を導入しバラスポーツの発展などに貢献します。



自動販売機

3. イベントや利用状況に合わせた飲食サービスの提供

- 大規模な水上競技大会やスポーツフェスティバルなどにあわせて、飲食サービスの充実と利用者の満足度向上を目的として、キッチンカーやフードショップを出店します。ウィズコロナにおいてテイクアウトフードの人気は高まっていることから、地元のB級グルメや食の魅力を発信する新たな場所としての活用を促進します。
- 団体利用を対象としたケータリングサービスや弁当デリバリーサービスを実施します。

4. コインランドリー運営

- 合宿を中心に需要の高いコインランドリーのサービスを実施し、快適な宿泊環境を提供します。
- 洗濯機・乾燥機(4台)は、正常な状態を維持し、外国人の方にもわかりやすい使い方や洗剤自動投入式の説明などを表示します。
- 競技練習などの宿泊者以外の利用者の使用についても柔軟に対応します。

5. 駐車場運営

- 大会やイベントの開催時など、混雑が予想される場合は、予めホームページや看板などで情報を提供するほか、公共交通機関の利用を勧めることで、周辺道路も含めた渋滞などの解消を図ります。



駐車場

テイクアウトフードの販売

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

- 「東京都福祉のまちづくり条例」のガイドラインに沿い「思いやり駐車区画」を設け、障がい者や歩行困難者、妊婦などが優先して利用できる環境を整えます。混雑時は、施設ロータリー付近で乗降できるようスタッフを配置しアテンドを行います。

6. マラソン・ウォーキングコースの設定

- 当法人代表は、(一財)東京マラソン財団との連携により都内の国営公園において、マラソンコースの整備を行っています。このノウハウを生かし、当施設においてもマラソン・ウォーキングコースを設定し、都民の健康維持増進をサポートします。
- 学校や企業などの団体利用の誘致を図るほか、距離表示やノルディックウォーキングポール、万歩計の貸出サービスを行い、個人の日常利用を促進します。また、万歩計の歩数を記録し100万歩を目指す『海の森ヘルシーマイレージ』を実施し、隣接する海の森公園の開園後は相互利用も可能とします。達成者には記念品を進呈し日常的な健康運動を誘発します。

ノルディックウォーキング

7. スポーツ関連資料の提供

- ボートやカヌーに関連する国内外の書籍や雑誌に加え、ルールブックや大会要項などを収集し、自由に閲覧できるスペースを設けます。
- 幅広い利用を図るため、ボートやカヌーを題材にしたマンガや小説、絵本、映画などを収集します。
- 利用者からの専門的な問合せや質問については、各種競技団体の協力を得て回答します。また、収集した資料やよくある質問については、ホームページに掲載します。

8. 競技大会や団体利用向けのサービスの提供

- 競技大会や合宿、イベント利用を促進するため、競技コースや貸出艇、宿泊室、会議室など、複数の施設利用時のセット割引料金を設定します。
- 大会・イベント時に必要となる機器・用品を用意し、貸し出すことで、利便性の向上を図ります。(映像・通信機器類、自転車、リヤカー、拡声器、表彰台など)
- 会議や研修時には、パソコンやプロジェクター、ポインターなどを貸し出します。
- 食事の手配や物品の貸し出し、手荷物預かりサービスを実施します。
- 広報用チラシを作成し、誘致活動を強化します。



チラシ (表面)



チラシ (裏面)

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

提案課題3〔スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務〕 1. 事業の提供

提案課題3-1(5)別表 利用者に対するサービス提供事業の事業実施計画〔令和5年度(2023年度)〕

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容 (目的、料金、提供方法、営業時間、 運営体制等)	収支の積算根拠 (支出には、人件費及び消費税 を含む。)	指定管理者の収支計画	
			支出	収入
1	【物販サービス】 ◇目的:利用者サービス、当施設周辺にはコンビニなどの物販店舗がないため、スポーツや衛生、レジャーに必要な商品を販売 ◇料金:100円～3000円程度の商品構成 ◇提供方法:対面式販売 ◇営業時間:通常(9:00～17:00) 大会・宿泊利用時(7:00～21:00) ◇運営体制:施設スタッフにて対応 繁忙期はアルバイトを配置			
2	【自動販売機の設置】 ◇目的:利用者サービス、飲食の提供 ◇料金:販売設定価格は100円～300円程度 ◇営業時間:24時間 ◇運営体制:業務委託			
3	【飲食サービス】 ◇目的:利用者サービス、大会やイベントに合わせてケータリングサービスなどを展開して飲食サービスを充実 ◇料金:販売設定価格は200円～1000円程度 ◇営業時間:大会やイベントの実施時間に準ずる ◇運営体制:業務委託			
4	【コインランドリー運営】 ◇目的:利用者サービス、特に宿泊利用者への快適な環境提供 ◇料金:300～500円/回 ◇営業時間:24時間 ◇運営体制:施設スタッフにて対応			
5	【駐車場運営】 ◇目的:利用者サービス、駐車スペースの提供 ◇料金:1時間200円(最大平日500円 土日祝1000円)、大型車1時間1000円(最大平日2000円、土日祝3000円) ◇営業時間:8:00～17:00(宿泊者は21:00まで) ◇運営体制:業務委託			
6	【バーベキューサイト運営】 ◇目的:利用者サービス、施設の利用活性化 ◇料金:大人500円/人、小人200円/人 ◇営業時間:10:00～17:00 ◇運営体制:業務委託			
事業者名・団体名		海の森水上競技場マネジメント共同企業体		

提案課題3 [スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務] 1. 事業の提供

◆ 内容

単位:千円

NO	事業名及び内容 (目的、料金、提供方法、営業時間、 運営体制等)	収支の積算根拠 (支出には、人件費及び消費税 を含む。)	指定管理者の収支計画	
			支出	収入
7	【マラソン・ウォーキング設定】 ◇目的:都民の健康維持増進、距離表示やノルディックウォーキングポール、万歩計の貸出サービス、ノルマ達成者へ記念品進呈 ◇料金:500円/回 ◇営業時間:9:00~17:00 ◇運営体制:施設スタッフにて対応		支出	収入
8	【スポーツ関連資料の提供】 ◇目的:スポーツ振興、普及啓発 ◇料金:無料 ◇営業時間:9:00~17:00 ◇運営体制:施設スタッフにて対応		支出	収入
9	【競技大会や団体利用向けのサービス提供】 ◇目的:利用者サービス、複数施設利用時のセット割引料金の設定、大会・イベント時の機器類貸出、広報用チラシ作成 ◇料金:機器貸出は有料 ◇運営体制:施設スタッフにて対応		支出	収入
			繰入額①	収入 総合計③
			支出 総合計② (①を含む。)	差引④ (③-②)

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

指定項目(1) 広報

[基本的な考え方]

- 当施設の認知度向上と利用促進を目的として、当法人の実績やノウハウ、ネットワークを最大限に活用した広報活動を展開します。

[具体的な取組]

1. 年間広報計画を作成し、施設の魅力を効果的に発信

- 当施設の利用者数や認知度向上に大きく影響するスポーツ振興事業・自主事業によるイベント・プログラムの情報を適時に発信するため、年間広報計画を作成します。
- **施設要覧**を作成し、関係団体へ配布します。
- 都庁インフォメーションなどでのリーフレットやチラシの配布、広報印刷物・ホームページへの写真記事掲載など、都や区が実施する各種広報活動に協力します。
- 施設情報をわかりやすく紹介したリーフレット(4か国語・ユニバーサルフォント使用など)、イベント・プログラムのポスター・チラシを作成し、スポーツ施設や公園施設、関係機関などに配布します。
- 水陸の競技団体へは、大会モデルプランを紹介する**施設利用の手引き**による訪問営業を行います。
- 当法人代表の公共施設における**独自の広報マニュアル**を活用し、情報の発信区域、ターゲットを絞り、効率的に発信します。

2. ホームページと SNS を連動させた情報発信で話題性アップ

- 当施設独自のホームページをスマートフォン向けサイトとあわせて開設します。ホームページ内に**スタッフブログ**を開設し、親しみやすい情報を発信するとともに、ホームページを SNS と連動させ、クチコミ情報として拡散する仕組みを構築します。
- 当施設ならではのダイナミックな景観をドローンにより動画撮影し、季節、朝日、夕日など、ここでしか見られない魅力ある風景を発信します。
- 関係団体ホームページと相互リンクを貼るなど、利用者によりわかりやすい情報提供に努めます。
- ウェブアクセシビリティ方針を策定・公開し、日本工業規格「JIS X8341-3」の適合レベル AA に準拠するよう努めます。

4. 訴求力のあるプレスリリースの作成・発信

- 大規模な競技大会やイベント・プログラムなど、ニュースバリューのある情報を積極的に都庁記者クラブ宛にプレスリリースするほか、江東区・大田区の広報誌への掲載を依頼します。プレスリリース作成にあたっては、広報マニュアルに基づき、見出しやレイアウト、表現など、取材につながる工夫をします。

5. 「お客様の声」を広く収集し、サービスを継続的に改善

- 効果的に情報を収集・発信するため、ご意見箱やアンケート調査(年1回)から当施設の情報の到達度をはじめ、サービスやプログラムの満足度を把握し、内容と方法を継続的に見直します。また、寄せられた意見・要望は、『お客様の声データベース』に記録し、スタッフと共有のうえで改善に着手します。
- アスリートや子育て世代、高齢者などのグループインタビューの実施に加え、当法人が管理運営する施設において来園者数や満足度向上に寄与している優良事例をもとに、潜在ニーズを把握し、サービスや実施内容の改善・魅力向上に努めます。



施設要覧



イベントチラシ



SNS (Instagram)

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

指定項目 (2) 業務の品質管理

[基本的な考え方]

- 当施設の利用者をはじめとして、水上競技団体や地域の関係団体、さらには利用したことのない都民等の声を聴取する機会と対象を拡大し、「都民の声が反映される管理」を実践するとともに、PDCAサイクルによる業務の質的向上のスパイラルアップを図ります。

[具体的な取組]

1. 利用者の意見・要望の収集方法

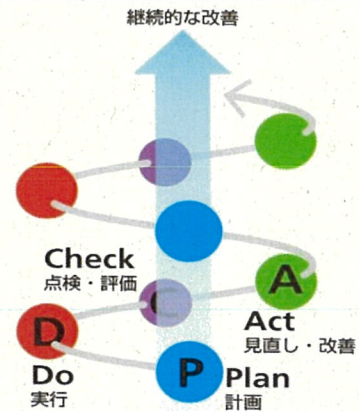
- 館内主要箇所に意見投書箱を設置し、毎日回収・確認することで、速やかな対応・改善につなげます。
- 電話や窓口、清掃などの作業時に口頭で直接寄せられた意見・要望は、「業務日誌」に記録しスタッフ共有を図ります。また、苦情や緊急を要する事案は、正規職員が対応を引き継ぎます。
- ホームページの『ご意見サイト』やSNSによる書き込みなど、ITを活用し来場前後に意見・要望を収集します。回答を求められている場合は、都に確認のうえで速やかに回答します。
- 利用実態を把握するため、来場目的、居住地域、交通手段、意見・要望などに関するアンケートを実施します。実施日は、水上競技大会開催の多客日と開催のない休日、平日とし、偏りを防止します。
- 利用者などの意見・要望の収集方法**

収集方法	対象者	収集目的
口頭・電話・メール、意見投書箱、ホームページの意見投稿サイト	来場者全般 (来場時、来場前後)	好評・不評、満足・不満などの具体的な意見
アンケート (対面形式で実施)	来園者全般 (来場時)	満足度など経年比較要素の定量的データ
グループインタビュー、モニタリング	アスリート・高齢者・障がい者・ファミリー・外国人・学生など	特定利用層のニーズ・意見 (未利用者含む)
ヒアリング	行政機関、ボランティア、競技団体、関係団体、スポーツ施設など	専門家やパートナー団体のニーズ・意見
アンケート (ネットリサーチ)	周辺区民などの未利用者	潜在利用層のニーズ・意見

- 意見・要望は、緊急度や重要度に応じて個別に対応するほか、定例のミーティングで対策を検討します。その結果は、都に承諾を得たうえでホームページや掲示板にて公開します。
- 指定管理者として対応困難な事案は、発生状況と対応案を踏まえ、速やかに都に報告します。対応案は、当法人の全国の施設管理運営データを生かし改善・解決策を検討します。

2. 業務の品質管理のためのPDCAサイクルの推進

- 本業務の遂行にあたって、本事業計画書に基づく年度の実施計画書を策定するとともに、取組の項目ごとに**プロセス目標を示した目標管理シート**を作成し、進捗確認・点検・評価・改善を適期に実施します。
- この目標管理シートの活用により、業務を総合的・計画的に把握し、課題抽出と軌道修正を速やかに行うことで、PDCAサイクルによる質的向上を実現します。
- スポーツやマネジメント、水上競技など有識者・専門家による第三者モニタリングを実施し、専門的かつ客観的な視点での点検・評価により、業務の品質を確保します。
- 当法人代表本社による安全衛生点検を実施します。労働安全衛生や経理を含む業務全般を対象とし、コンプライアンス遵守や公正な取引・契約など、公の施設としての適正管理に向けた点検・指導を行います。



計画	<ul style="list-style-type: none"> ■ 都民の声に基づく改善プラン策定 ■ 業務毎の実施計画策定
実行	<ul style="list-style-type: none"> ■ 業務及び現場の改善 ■ より良いサービスの提供
点検評価	<ul style="list-style-type: none"> ■ 都民の声 (アンケート、ヒアリングなど) ■ 都の評価・指導 ■ 自己点検・評価 ■ 第三者モニタリング
見直し改善	<p>【当法人の管理運営委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 都民の声の分析・報告・提案 ■ 改善プランに向けた指導・支援

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

指定項目 都立スポーツ施設等のネットワークを生かした取組

[基本的な考え方]

- 都の示した「全 18 施設のネットワークでポテンシャルを最大限発揮」を実現するため、「発信力の強化」、「ニーズ対応力の強化」、「一体的取組によるスポーツ振興」につながる取組を推進します。
- 当法人構成団体各社が管理運営に携わる、カヌー・スラロームセンター、大井ホッケー競技場、夢の島アーチェリー場などとの連携・協働を軸に、当施設の新たな利用価値を創出します。
- さらに、当法人が管理運営する新宿区及び文京区の都市公園内スポーツ施設や国営公園内のスポーツ施設などとの連携により、全都的なスポーツ振興や施設間交流に向けた取組を展開します。

[具体的な取組]



主な取組

- 全施設共通のデジタルガイドなどの作成協力
- ホームページのリンク
- 施設の3Dビュー+VR映像の提供
- リーフレットの配架
- 「TOKYO Unique Venues」掲載への取組
- 全施設のスポーツ教室やイベントなどの情報発信
- 若者の関心を引く SNS 媒体での施設紹介
- 周年事業、スポーツの日記念事業、パラスポーツなどに着目した共通イベントの実施
- 大会ベニユーツアーの開催、教育旅行、イベント見学などの受入れ
- スタンプラリー・謎解きラリーへの協力

オリンピック会場などを巡るスタンプラリー



パラリンピック会場などを巡る謎解きラリー

都ホームページより

1. 相互の利用促進・認知度向上の取組

- **広報連携**：ホームページや施設内インフォメーションにて、他のスポーツ施設の情報を提供します。
- **マッチング**：様々なスポーツ・レクリエーションの大会の受入れを行うとともに、他の施設の紹介を行います。
- **交流・展示**：スポーツ用具や東京 2020 大会アーカイブ資産などの施設間共有を図ります。
- **都民ニーズの把握**：共通の利用者アンケートの実施や支援を行います。

2. ユニークベニューや体験型観光誘致への取組

- 音楽コンサートや飲食フェスティバルなどのイベント、企業研修、教育旅行、ロケ地利用など、多目的な利用誘致を図るため、都のパートナーシップ会議などを通じて、他のスポーツ施設との意見交換、情報共有を行います。
- 地域・関係機関と連携し、地域が持つ観光資源とスポーツとを掛け合わせた施設の利用促進や、地域の活性化につなげていくスポーツツーリズムを促進します。また、東京 2020 大会のレガシーを生かし、競技会場などを巡るベニユーツアー（施設見学会）を実施します。
- 東京港海の森トンネルと東京ゲートブリッジへの歩行者・自転車ルートの開通に向けて、ウォーキングやランニング、サイクリングの核拠点としての機能・サービスを検討していきます。

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

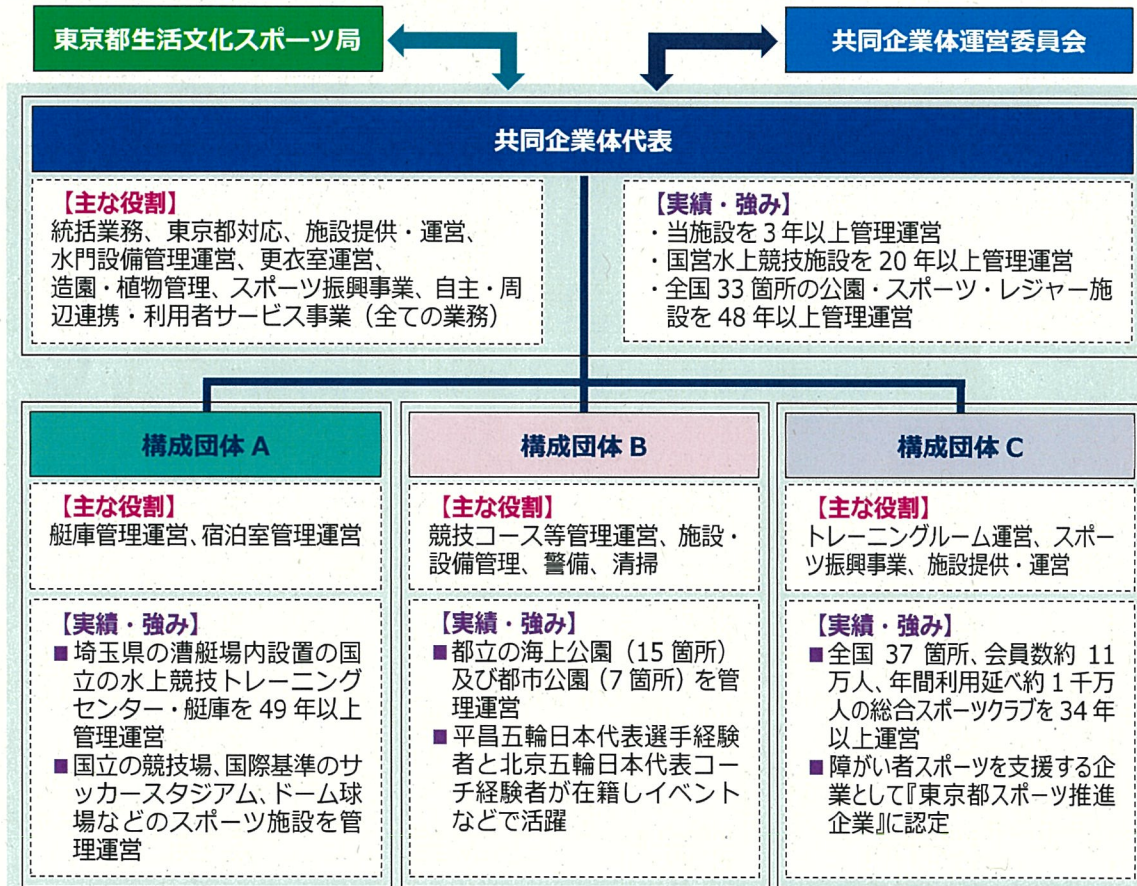
提案課題4 [組織及び人材] 1. 効果的かつ効率的な組織体制の確保

指定項目 効果的かつ効率的な組織体制の確保

[基本的な考え方]

- 当施設の魅力を最大限に引き出すとともに、様々な水上競技の裾野拡大への貢献、そして都民・国民のスポーツ・レジャー利用や健康増進の場となるよう多様なニーズに柔軟に対応できる人材を配置します。
- 当法人は、国営の水上競技施設のマネジメントをはじめ、国立水上競技トレーニングセンター・艇庫、都立の海上公園、総合スポーツクラブなど、当施設の運営に有益な経験と専門性を有しており、これらの実績を生かし、適切な人材を配置します。

[組織体制]



↑ ↓ 連携・協働・協力・支援

水上競技団体	日本ボート協会、日本カヌー連盟、日本トライアスロン連合、日本ドラゴンボート協会、日本障害者カヌー協会 ほか
地域連携・市民協働関係	周辺のスポーツ施設・都市公園・海上公園などの指定管理者、東京都海の森倶楽部、スポーツ振興団体 ほか
行催事・広報関係団体	東京都レクリエーション協会、日本レクリエーション協会、全国レクリエーション普及団体 ほか
行政・教育・健康・福祉関係団体	東京都環境局、東京都港湾局、江東区・大田区等の近隣区（スポーツ振興課、教育委員会）、東京都障害者スポーツ協会 ほか
有識者・専門家	、オリンピック・パラリンピアン、スポーツ施設マネジメントなど公的資格保有者 ほか

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

提案課題4〔組織及び人材〕 1. 効果的かつ効率的な組織体制の確保

提案課題4-1 別表 各部門の主要人員

	役 職	担当業務内容 (具体的に記入)	能力・資格 実務経験年数等	常 勤	非 常 勤	委 託	1週間の 勤務時間	備 考
施設配置人員	施設長							
	施設長補佐(水門・揚排水ポンプ運営業務責任者)							
	運営管理担当者(更衣室運営業務責任者)							
	運営管理スタッフ							
	利用サービススタッフ							
	艇庫・宿泊室運営業務責任者							
	艇庫・宿泊室運営業務担当者							
	宿泊室スタッフ							
	宿泊室スタッフ							
	宿泊室スタッフ							
	競技コース等運営業務責任者							
	競技コース等運営業務担当者							
	清掃スタッフ							
	清掃スタッフ							
トレーニングルーム運営業務責任者								
トレーニングルーム運営業務スタッフ								

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

指定項目 明確な責任体制の構築

〔基本的な考え方〕

- 本業務の施設長は、国営公園や都市公園など公共施設での豊富な管理運営経験と資格を保有する当法人代表の職員を配置します。
- 業務ごとに責任範囲を明確にした責任体制を構築し、施設長の指揮のもと、業務を遂行します。
- 施設内サービスに関する業務をはじめ、スポーツ振興事業、自主事業、周辺連携事業、利用者に対するサービス提供事業などのマネジメントを担当する、施設長補佐、担当者を当法人代表が配置します。
- 艇庫及び宿泊室の運營業務は、国立の水上競技トレーニングセンター・艇庫を49年以上管理運営してきた実績とノウハウを有する構成団体Aが、責任者、担当者を配置します。
- 競技コースの運營業務をはじめ施設管理、警備清掃などは、都立の海上公園（15箇所）及び都市公園（7箇所）を管理運営してきた実績とノウハウを有する構成団体Bが、責任者、担当者を配置します。
- トレーニングルーム運營業務は、年間利用延べ約1千万人の総合スポーツクラブを34年運営してきた実績とノウハウを有する構成団体Cが、責任者、担当者を配置します。
- なお、当法人代表が全体マネジメントの役割を担い、内部統制や外部調整の窓口を務め、当施設の管理運営の一元化を図ります。

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

指定項目 適切な勤務体制等

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

指定項目 人材育成の取組

〔基本的な考え方〕

- 職員・スタッフの教育・研修による人材育成は、多様な利用者に対する接客接遇はもとより、水上競技や周辺地域の情報、災害・事故の対応など、幅広い知識と技術を習得できるよう計画的に実施します。
- 利用動向や社会動向、発生する事故やトラブルに応じ、朝礼・終礼、チームミーティングにて反復的・継続的な教育・指導を行います。また、安全管理や危機管理に関するOJT、業務に有効な資格取得の奨励などにより、職員・スタッフ一人ひとりの意欲向上、オーナーシップの醸成を図ります。
- 当施設開業までの「準備期間」、東京2020大会準備から大会終了までの「維持管理期間」、そして再開業後の「運営期間」の3つのステージの経験を生かした教育・指導を行います。

施設見学対応

〔具体的な取組〕

1. 業務開始時の人材育成プログラム

朝礼（手話の練習）

業務基礎研修	<ul style="list-style-type: none"> ・当施設の設置目的、施設特性、基本事項、都の上位及び関連計画 ・管理運営計画・管理運営状況の理解、実施にあたっての留意事項 ・利用者の接客接遇の基本事項 ・利用者の安全確保、救急救命、事故・災害発生時の初動対応 	業務開始前 新規採用時 新規配属時
オペレーション スキル研修	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者案内・規則、館内や有料施設の利用手順を習得 ・「東京都スポーツ予約システム」などの各種受付方法を習得 	
コンプライアンス 研修	<ul style="list-style-type: none"> ・都の条例、関連条例、法で定められた点検・管理の理解 ・個人情報保護の取扱・ルール及び機密保持の厳守 ・人権尊重、ハラスメント防止、反道徳的行為の防止 ・労働安全衛生規則の重要性の理解 	

2. 業務期間中の人材育成プログラム

●利用者の対応・サービスに関する研修・トレーニングなど

接客・接遇研修	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション能力の向上とともに、多様な利用者に対する平等・公正な対応、利用ルール、法令遵守に関する研修 ・「公共サービス窓口における配慮マニュアル」の活用 	年1回
ユニバーサルデザイン 研修	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者疑似体験や車いす体験などによる高齢者、障がい者などに対する配慮やサポート能力の向上を図る研修 ・LGBTQ+の理解と配慮 	年1回
外国人コミュニケーション 研修	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な英会話とコミュニケーション能力の向上を図る研修 ・水上競技などの専門用語の理解 	年1回
個人情報保護研修	<ul style="list-style-type: none"> ・公の施設としての機密保持、個人情報保護の重要性を理解し、個人情報の管理を習得する研修 	年1回
スポーツ体験講習	<ul style="list-style-type: none"> ・ボート、カヌー、トレーニングルームなどを実体験し知識を学ぶ 	年1回
海の森検定（職員対象）	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者案内の質を高めるため、当施設、海の森エリア、東京2020大会、東京港、周辺施設などの情報・知識に関するテストを実施 	年1回

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

提案課題4〔組織及び人材〕 4. 人材育成の取組

●安全衛生に関する研修・トレーニングなど

安全衛生管理研修	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の安全確保及び労災防止のための教育・訓練 ・職場安全パトロール、不安全行動チェック、ヒヤリハット共有 ・イラストや作業写真を使った危険予知トレーニング 	年6回
ライフ・ワーク・バランス研修	<ul style="list-style-type: none"> ・疲労蓄積度診断、ストレスチェックなどによる、心と体の健康の重要性を理解し、安全・快適な職場環境を形成するための知識を学ぶ 	年1回
防災訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・初期消火活動、応急手当、負傷者搬送の訓練 ・地震災害発生時の緊急通報、避難誘導などの実践的訓練 ・危機管理マニュアルの徹底、地震に対する知識を学ぶ研修 	年2回
普通救命講習 水難事故対応研修	<ul style="list-style-type: none"> ・消防機関や応急手当普及員スタッフによる AED 操作・心肺蘇生法 ・船舶を使用した水難事故や傷病者発生時の初動対応訓練 	年2回
犯罪・テロ対策 訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・警察機関による最新の犯罪発生傾向や対策方法の講話 ・サスマタなど防犯用具、護身用具などの訓練 ・東京 2020 大会での経験、警察・消防等の指導・連携の経験を活用 	年1回

安全衛生研修（安全運転）

専門研修（本社実施の清掃
技術向上研修）

防災訓練（初期消火）

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

指定項目(1) 施設、附属設備及び物品の維持管理

〔基本的な考え方〕

- 施設、附属設備及び物品の維持管理においては、施設長を**施設等管理責任者**、施設長補佐を**物品管理責任者**に任命し、各業務責任者との緊密な連携により、迅速かつ適切な維持管理を行います。
- 施設開業から3年間の点検・修繕などの記録・データを生かし、施設、附属設備及び物品の特徴や操作方法などを整理した**施設設備管理台帳**を適宜更新し、維持管理に活用します。
- 当施設は多種多様な物品や貸出物品を所有しているため、**管理者別物品台帳**にて整理するとともに、品名や型番、数量、配置場所などを明確にしたうえで、状態などを含めた保管記録をデータ化し、適切に管理します。
- 施設管理マニュアル**に基づく点検や修繕を行い、結果記録を常にデータ化することで、予防保全に生かすほか、**物的被害や費用的損失を最小限に止める維持管理を実践**します。
- 沿岸部に立地する環境にあるため、塩害が生じる可能性があること、それらを踏まえた管理計画を作成するとともに、資格と経験を有する業務責任者などを配置し、安全・衛生・機能の確保に努めます。

〔具体的な取組〕

1. 施設点検

- 点検対象や方法、頻度、状態などを整理した**施設点検チェックリスト**を作成し、清掃や巡視員なども含めたすべてのスタッフが、目視・触診・聴診・打診などにより日常点検を行い、**危険や不具合箇所の見落としを防止**します。
- 大規模な大会や多客期前に担当者以外のスタッフも含めた**臨時点検**を行い、利用頻度が低い施設もあわせて、全体の状態を把握します。
- 施設等管理責任者(施設長)を中心とした毎月の**安全パトロール**や当法人各構成員本社による**安全衛生点検**などを実施します。
- 法令で定められた点検を要する設備などは、専門業者などにより、適切に行います。



設備点検

2. 物品保守管理

- 当施設の備品は、利用者が使用する備品と指定管理者のみが使用する備品に分けられるため、使用者や用途などに応じた保管を行います。
- すべての備品はデータベース化した台帳に登録し、取得日や保管場所などを明確に**します。
- 貸出物品は、貸出の前後に損傷や不具合などを使用者とともに確認し、常に良好な状態を保ちます。
- 故障や不具合が生じた場合は、状況写真や原因などを記録し、速やかに都に報告するとともに、適切に取り扱い、処理します。
- 新規に備品などを取得する場合は、納品時の確認に加え、購入日や配備場所を台帳に登録し、タグやシールを取り付けます。



競技コースの点検・調査

3. 清掃

- 清掃レベルの平準化を図るため**清掃マニュアル**を作成し、施設全体の除塵やゴミ収集、トイレ清掃、手すりや表示物の水拭きなど、日常清掃を行います。また、清掃後は**清掃チェックシート**に内容を記載し、作業の可視化を図ります。
- 窓ガラス、シャッター、観覧席など塩害を受けやすい屋外施設は、真水による洗浄をこまめに行います。
- トイレの清潔さは利用者満足度に大きく影響するため、利用状況に応じて臨機にスタッフの人数や頻度を設定するほか、トイレットペーパーや手指消毒液、ハンドソープ、芳香剤の補充を適宜行います。
- 専用の洗剤や機械を使用する床面のワックス塗布や外壁の高圧洗浄などは、定期清掃にて行います。
- 台風の通過後や大規模競技大会後などは、利用に支障が生じないように、開園時間前後に実施します。



細やかな清掃

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

4. 植栽地管理

- 当施設の環境・防災・レクリエーションなどの機能を有する植栽地を適切に維持管理するため、当法人代表の国営公園などで使用する植物管理マニュアルに基づき、当施設の植栽機能に適した効果的・効率的な管理を行います。
- 防風林を健全に育成するため、当法人代表所属の樹木医による樹木点検を行うなど、快適な水上の利用環境を確保します。また、防風林の位置する中防波堤外側地区へは東京都中央防波堤外側埋立処分場管理者の許可を受けたうえで入場します。
- 病害虫が発生した場合は、原則として薬剤散布は行わず、捕殺などにより駆除します。やむを得ず散布する場合は、都と協議のうえで、利用のない時間帯、海などの環境に配慮し風の弱い時に実施します。



植栽管理

5. 異常発生時の対応

- 巡回点検時や設備の異常警報、利用者からの通報など、施設・物品の異常を発見した場合は、施設長をはじめ正規職員が現場を確認し、迅速な対応を図ります。
- 夜間機械警備や水門等設備の異常警報発報時は、警備員が現場に急行し、状況を施設長や各業務責任者などに報告、必要に応じて現場対応を行います。なお、当施設より車で30分圏内に正規職員を居住させます。



救命用具の点検

指定項目（2）施設の修繕

【基本的な考え方】

- 修繕を要する施設は、施設長（施設等管理責任者）がその緊急度や危険度、利用者への影響などを十分検討し、適切な方法、工程、費用などを総合的に判断したうえで実施します。
- 異常・故障の未然防止を目的とした「予防保全型管理」と、異常・故障の発生時点で行う「事後保全型管理」を効果的に組み合わせ実施します。
- 当施設の施設管理マニュアルや点検修繕等管理履歴に基づき、施設・設備の稼働状況や劣化状況に応じて適切な措置を講じ、港湾部に位置する競技施設・水門設備などの特殊な施設設備を有することから、海水や潮風などによる異常や劣化、汚損などに適切に対応します。

【具体的な取組】

- 施設利用の予定がある施設や使用頻度の高い施設は迅速な対応が必要であることから、危険度が低い場合は、応急修繕を行います。
- 修繕を外注することが効率的かつ効果的な場合は、これまでに構築した専門業者とのネットワークを活用するとともに地元業者を優先します。
- 施設の利用制限を伴う修繕を行う際は、事前にホームページや掲示物にて告知するとともに、修繕中は立ち入り制限措置を取るなど、安全管理の徹底を図ります。
- 直営、外注にかかわらず、修繕の内容はデータベース化し、今後の修繕計画に反映させます。
- 指定管理者の業務範囲を超える修繕については、状況の記録や費用、期間などを迅速に都に報告します。
- 修繕を行う場合は、高齢者、障がい者などの移動等の円滑化の促進に関する法律「建築物移動等円滑化基準」を遵守します。
- インターロッキング舗装部は、重量のある車両の通行により、舗装の破損や陥没が懸念されるため、車両の乗り入れや駐車の実施を制限を行います。



専門技術者による対応



インターロッキング舗装修繕

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

【業務の再委託について】

- 地域に根ざした管理運営にあたって、外注することが効率的・経済的な業務については、公正な契約と適正な価格により都内業者への業務発注を推進し、地域経済にも貢献します。
- 施設設備の点検・修繕や、警備などの専門技術・公的資格を要する再委託業務については、緊急時・災害時の速やかな対応を可能にするため、都内発注を前提とした業者選定を行います。
- 質の高いサービスを安定して提供できる都内業者であることを条件として、同種業務の継続的な発注など、年間の業務量に配慮します。また、都内の優良業者と良好な関係を構築し、日常的・継続的な情報交換や技術提案などにより、管理運営の質の向上、都内業者の技術力の向上を図ります。

●再委託一覧表

分類	作業の種類	業務内容	留意事項
電気設備	電気設備点検・修繕	点検・調整・試験・修繕	電気事業法に基づく点検や利用者に配慮した作業時期を設定する
電気設備	通信設備・映像設備点検・修繕	点検・調整・修繕	利用者に配慮した作業時期を設定する
電気設備	監視・制御設備・防犯カメラ	点検・調整・修繕	関係者と調整のうえで作業時期を設定する
電気設備	太陽光発電設備点検・修繕	点検・調整・修繕	電気事業法に基づく点検や利用者に配慮した作業時期を設定する
建築設備	建物点検・修繕	点検・調整・修繕	特に建物内では利用者の安全管理を徹底する
建築設備	工作物点検・修繕	点検・調整・修繕	点検時期の調整、利用者の安全管理を徹底する
建築設備	昇降設備点検・修繕	点検・調整・試験・修繕	点検時期の調整、利用者の安全管理を徹底する
建築設備	自動扉設備点検・修繕	点検・調整・試験・修繕	点検時期の調整、利用者の安全管理を徹底する
消防設備	消防設備点検・修繕	点検・調整・試験・修繕	消防法に基づく点検の実施や、作業時期の調整、関係者や利用者への事前周知を行う
空調設備	空調設備点検・修繕	点検・調整・試験・修繕	点検時期の調整、利用者の安全管理を徹底する
通信設備	放送設備点検・修繕	点検・調整・修繕	点検時期の調整、利用者の安全管理を徹底する
給排水設備	給排水衛生設備点検・修繕	点検・調整・修繕	作業時期の調整、利用者の安全管理を徹底する
給排水設備	雨水処理設備点検・修繕	点検・調整・修繕	点検時期の調整、利用者の安全管理を徹底する
測定業務	環境測定	調査・測定・分析	測定時期は調整を行い適期に実施する
清掃業務	定期ガラス及び建物清掃	点検・調整・清掃	利用者に配慮した作業時期を設定する
清掃業務	廃棄物処理	積込・運搬・処理	産業廃棄物の処理についてはマニフェスト伝票による適正な手続きを行う
警備業務	警備業務	巡回・点検	大会時やイベント時等は特に多くの利用者が来場されるため適切な案内・誘導を行う
警備業務	機械警備	警備・作動確認	設備が正常に作動するか確認を確実にを行う
警備業務	安全監視・誘導整理	監視・調整・誘導	大会時やイベント時等は特に多くの利用者が来場されるため適切な案内・誘導を行う
競技施設等	貸出艇点検	点検・調整・修繕	利用に支障のない時期に実施する
厨房設備	厨房機器点検	点検・調整・点検	利用に支障のない時期に実施する
植栽管理	植物管理作業	芝生・低木・中高木・草花の管理、防風林管理	強風が予想されるため枯損木や折損枝、傾き等は速やかに対処する
水門管理	水門・揚排水ポンプ運営業務	点検・監視・運転	特に天候状況に注意して適切な水門開閉やポンプ稼働を行う

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

指定項目（1）危機管理及び災害対応

【基本的な考え方】

- 当法人は、ビフォーコロナでは年間3,000万人以上の公園施設利用、年間1千万以上のスポーツクラブ利用に対応しており、様々な災害を想定した対応マニュアルや危機管理体制、事業継続体制を構築し、利用者の安全を確保しています。当施設の危機管理や災害対応については、これらのノウハウと実績を生かし、万全の対策を講じます。
- 当施設は、立地特性から台風や集中豪雨、高潮、首都直下型地震などを想定し、対策を講じる必要があります。新型コロナウイルス感染症との複合災害の対応経験を生かし、防災・減災・備災をさらに強化します。
- 当法人代表がデータ化(約4,500件)する都市公園などでの事件事故の発生状況は、けが・負傷(約50%)、病気(約20%)、車輦事故(約10%)、事件(約10%)、その他(約10%)となっており、当施設においても、利用の形態や動向などに応じた対策を講じます。
- 当法人は、職員一人ひとりが自らの安全を確保するため、**安全衛生管理マニュアル**に基づき、安全な職場づくりと健康の保持増進を図ります。また、「ゼロ災害全員参加運動」に取り組みます。



海の森水上競技場 優良防火対象物認定通達書交付式

【具体的な取組】

1. 危機管理体制の構築

- 事故や事件、災害の規模に応じて「注意」「警戒」「非常」体制を執ります。体制の構築にあたっては、気象庁の情報と連動した緊急安否確認システムを導入し、職員の安否確認と緊急参集要員を確保します。
- 施設長を**危機管理責任者**とし、現場の指揮や都をはじめとする行政機関との連絡調整を担います。また、電話や電子メールの不通に備え、衛星電話を配備します。
- 各業務責任者を**対策班長**とし、施設内滞在者や被害状況を把握したうえで、各施設のスタッフに避難誘導や救護活動の指示をします。各スタッフを**対策班員**とし、担当施設の被害状況の確認と報告をはじめ、施設内滞在者の避難誘導と救護にあたります。
- 当法人代表本社は、下記3段階の体制基準に応じて対策本部を立ち上げ、現場へ人的・物理的支援を行います。災害発生時には、物資の備蓄や救護医療スペース等の役割を担う施設として都に協力します。

災害	注意体制	警戒体制	非常体制
テロ	都内で発生(可能性)	当施設で発生の可能性	当施設で発生の予告あり
感染症	国内発生	都内発生	施設内発生
地震	震度4	震度5	震度6
台風	影響の可能性あり	災害発生の可能性あり	重大な災害が発生
大雨	注意報発令	警報・避難勧告発令	

2. 事故・事件・トラブルへの対応

- 船艇の転覆、沈没、落水などによる重大事故を防止するため、ライフジャケットの着用の義務化(競技利用を除く)、救命浮き輪の点検、巡視を徹底します。また、注意事項のアナウンスやスタッフの声掛けにより、利用者の安全意識の向上を図ります。
- けがや病気などの防止を図るため、トレーニング利用時には体調チェックやウォーミングアップの実施、用具などのチェックと安全利用を受付時に呼び掛けます。また、WBGT(湿球黒球温度)を測定し、休息や水分補給など熱中症を防止する喚起を行います。
- 当施設は車輦による来場が多く見込まれることから、施設内の走行速度などを遵守するよう表示などを行うほか、多客日は安全監視員や交通誘導員を配置し、円滑な誘導を行います。
- 当施設は国際海上コンテナターミナルに隣接していることから、ヒアリやセアカゴケグモの侵入に注意し、排水溝の側面や蓋の裏など施設の陰を中心に確認し、発見次第駆除します。



クールスポット設置(微細ミスト装置)

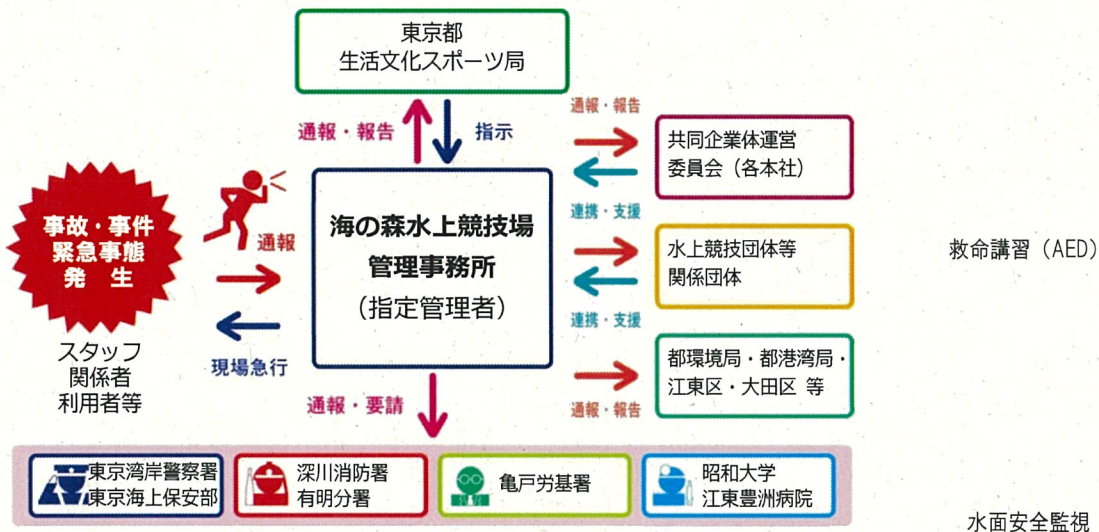
事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

提案課題5〔施設の維持管理その他管理運営に関する業務〕 2. その他の管理運営に関する事項

- すべてのスタッフが普通救命講習を受講し、応急手当やAED操作に関する知識と技術を習得します。
- 飲食サービスにおいては、全国の公園・レジャー施設で運用する**独自の食品安全衛生管理マニュアル**に基づき、点検・検査をはじめ、食中毒や異物混入、賞味期限切れの防止など、安全衛生を徹底します。
- 当施設は、周辺に住宅がなく、夜間は犯罪などが発生する可能性があることから、警察庁の「安全・安心まちづくり推進要綱」に沿い、防犯カメラの設置や照明の照度確保、近隣警察所に定期パトロールを要請します。当施設の周辺も巡視ルートに設定し、不法投棄や放置車両、不審停泊船などを確認します。
- 大規模な大会・イベントなどの開催時は、東京2020大会の対応経験を生かし、海上保安庁や警視庁の官民連携によるテロ対策を講じるとともに、**危機管理マニュアル(犯罪・テロ編)**に基づく警戒表示や不審行動者の確認をします。

●緊急時連絡体制



3. 地震災害

- 当法人代表は、過去に発生した震災において、沿岸部からの誘導や帰宅困難者の受入れなど、地震発生後の役割や対応内容を明確にした**危機管理マニュアル(地震編)**を作成しており、規模や被害状況の確認、人命救助や避難誘導など適切な初動対応にあたります。
- 切迫化する地震に対しては、状況把握や情報伝達、避難誘導などの訓練を繰り返すことで習熟度の向上を図ります。都が想定する首都直下型地震発生時の被害では、東京湾埋立地の最大津波高は2mとなっていることから、隣接する海ノ森公園に避難誘導します。

●震災対応実績

地震名	公園	特記事項
福岡西方沖地震	国営公園(福岡市)	園内での避難誘導
新潟県中越地震	国営公園(新潟県)	自衛隊のベースキャンプ受入れ
東北地方太平洋沖地震	国営公園(東京都、宮城県等)	帰宅困難者受入れ
熊本地震	都市公園(熊本市)	地域住民の避難受入れ、施設開放

●震災災害の経過時間に応じた対応 ※東京都の指示に従い迅速に対応

段階	時期	目標	内容
予防	発災前	対策準備	園内での避難誘導
災害発生			
直後	～3時間	生命確保	人命救助、避難誘導、被災状況の調査、情報提供、災害用施設の使用準備
緊急	～3日	生命維持	災害状況調査、情報提供、災害用施設の使用開始、食料等の救援物資の確保、ライフラインの復旧、危険箇所の立入規制
応急	3日以降	生活確保	被災状況の調査、適切な情報提供、医療・給水・風呂などの救援活動、支援ボランティアの受け入れ
復旧		生活再建	競技場施設の復旧、建物などの提供

事業者名・団体名

海ノ森水上競技場マネジメント共同企業体

4. 風水害（台風、集中豪雨、線状降水帯等）

- 都の防災アプリをスマートフォンやタブレット端末にダウンロードするほか、インターネットのアラートシステムを活用し、常に気象情報を迅速に入手します。
- 利用制限や臨時閉場が予測される場合は、ホームページなどにより情報を発信します。都と協議のうえで迅速に対応します。
- **危機管理マニュアル（風水害編）**に基づき、風雨により仮設物の破損、飛散がないよう、撤収や固定を行います。また、建物内への浸水防止のための土嚢設置や養生を行います。
- 特に競技場内の水位を AP±2.1m に設定している場合には、専門業者と相談のうえで、集中豪雨などによって規定以上の水位にならないように、一定水位で排水ポンプが自動運転するよう設定します。
- 風雨が収まった後に被害状況を確認し、必要に応じて清掃を行います。



風水害対策
（自動扉の養生）

5. 雷

- 雷は短時間のうちに発生し、通過する傾向があり、迅速な情報入手と避難誘導が重要となることから、**危機管理マニュアル（雷編）**に沿って対応します。
- 雷活動度を4段階で表示する雷検知システムを活用し、襲来までの時間や雷雲までの距離に応じて段階的に対応します。
- 避難や誘導を呼び掛ける際は、落雷した付近への放電による側撃雷を防止するため、艇庫棟やグランドスタンド棟の建物内に避難するよう誘導します。
- 雷の影響により、利用の中止・制限、休場が見込まれる場合は、ホームページ等で情報を提供します。

6. 竜巻

- 竜巻は発生の子測が困難かつ移動速度が速いため、兆候の把握と情報収集、迅速な避難誘導により被害の最小限化を図ります。天気予報や気象情報にて「大気が不安定」や「激しい突風」などが表現される場合は、竜巻の発生可能性があるため、注意するとともにスタッフに情報共有します。
- 竜巻が発生した場合は、車内などを避け、艇庫棟やグランドスタンド棟などコンクリート製の建物内への避難を呼び掛け、窓から離れるよう案内します。また、竜巻が通過及び消失した後に被害状況を確認し、復旧などに時間が掛かる危険性のある場所は、立ち入り制限をします。

7. 労働災害防止

- 当法人代表が管理運営する公共施設において、スタッフに係る事故データを分析した結果、①作業中の負傷、②体調不良・既往症の発症、③車両事故が多く、時期は夏季（7-9月）が約4割、年齢は60代が最も多い傾向にありました。また、当施設の事故防止にあたっては、頻度や時期、スタッフの属性などから、発生する可能性のある事故を想定し、その対策を講じます。
- **安全衛生委員会**を組織し、**安全衛生計画**を策定のうえで、研修や講習会、安全パトロールを実施します。
- 多くの事故は「不注意・不適切・不足」から発生することから、**安全衛生管理マニュアル**に基づき、安全な作業手順、服装、保安設備の確認のほか、危険予知訓練などを朝礼時に行います。
- 雇用時健康診断のほか、定期健康診断の結果から健康状態を把握するとともに、朝礼や定期面談時に健康状態を確認します。
- 夏季は気温の上昇により熱中症や注意力が散漫になる傾向があり、スズメバチやクラゲによる被害も増加するため、**事故防止強化月間**と定め、注意喚起や休息などの頻度を多くします。
- 車両事故の防止を図るため、**独自の車両運行規則と罰則規定**を設けるほか、安全運転講習を受講します。



当法人作成の冊子
「高齢労働者の労働災害防止の手引き」

安全衛生研修

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

指定項目(2) 地球環境への配慮

〔基本的な考え方〕

- 当法人は、「東京都環境基本計画」(現在あり方検討が進められている)に基づき、「2050年脱炭素、2030年カーボンハーフ実現」への施策を踏まえ、環境に配慮した施設管理運営を実践します。
- 当施設に関わりの深いSDGsのターゲット目標を理解し、達成に向かって取り組むことで、持続可能な社会の実現に貢献します。
- 当施設の管理運営を通じて、環境負荷の低減、省エネルギー、資源循環型管理などの取組を進め、都民の自然資源・都市環境の保全・活用への関心と理解を深め、次世代に継承します。

〔具体的な取組〕

1. スマートエネルギー都市の実現に向けた取組(エネルギー使用量削減、再生可能エネルギー活用)

省エネルギーへの取組	<ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房は適正温度で使用する。夏季の軽装及び冬季の重ね着などを推進する。 ・事務室・管理用の諸室の照明は、こまめに消灯する。 ・自然光を積極的に採り入れ、施設利用に支障がない範囲で照明の間引き点灯を行う。 ・定期的な水道メーターチェックにより漏水などの異常を早期に発見する。 ・パソコン、コピー機、プリンターなどは、省エネルギーモードに設定する。 ・昼休みや時間外勤務などでは、不必要なコピー機、プリンターなどの電源を切る。 ・タップ式コンセントスイッチ使用により待機電力を抑える。 ・当施設の太陽光発電や雨水利用などの省エネルギー化に向けた取組をHPなどで発信する。
省エネ型自販機の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・自動販売機の空き缶やペットボトルなどは設置業者による再資源化を要請する。 ・自動販売機の排熱を有効活用することで、従来機に比べ電気使用量を30%削減可能なヒートポンプ式自動販売機を設置する。(夏季の電気消費ピーク時に一定時間の冷却停止をする機能や、販売直前の商品のみを冷却・保温する機能などにより、環境負荷の低減を図る)
排気ガスの抑制など	<ul style="list-style-type: none"> ・日常点検などの管理作業を伴わない施設内の移動は自転車の基本とする。 ・管理用自動車は、急発進、急加速、駐停車中の不要なアイドリングを実施しない。 ・管理用自動車は、施設内外にて混雑するルート・時間の移動を避け、安全かつ効率的な運転に努める。不要な荷物を積んだまま走行しない。

2. 利用者の安全性・快適性につながる取組(光熱量の抑制、暑さ対策)

クールスポットなどの創出	<ul style="list-style-type: none"> ・微細ミストの設置やグリーンカーテンの推進など、暑さを緩和するクールスポットを創出することにより、当施設の利用者が真夏でも心地よく過ごせる環境づくりを進める。
屋上緑化の普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・艇庫棟の屋上緑化システム(グリーンボンド制度)の取組を、利用者にもわかりやすい解説板を設置することで、環境問題の意識向上と屋上緑化の普及啓発に貢献する。
適切な植物管理	<ul style="list-style-type: none"> ・海の森公園と一体でグリーンインフラを形成し、大気浄化や気象緩和の効果をもたらす。 ・植栽木については、計画的な剪定、害虫駆除により良好な生長を促し、快適な緑陰の形成に努める。病虫害の早期発見に努め、薬剤散布は極力使用しない。

3. 資源循環型管理の推進(廃棄物発生抑制、リサイクル推進、発生材の適正処理)

廃棄物減量への取組	<ul style="list-style-type: none"> ・物品などの購入においては適正量を購入する。 ・コピー機やプリンターのトナーカートリッジは、回収・再利用を業者に要請する。 ・購入品納入時の梱包材・包装紙・ビニール袋などを事前に断る。 ・清掃洗剤や文房具類は、詰替用や取替用を使用する。また、ごみ袋の抑制とあわせて、プラスチックごみの排出を抑制する。 ・施設設備などの点検・修繕を適切に行い、異常・故障発生を防ぎ、廃棄物を抑制する。 ・工作物や道具類は、修理・改良しながら可能な限り長期間使用する。 ・廃棄物の処理などを業者に委託する場合は、適正に処理されていることを確認する。 ・ごみの持ち帰りを競技団体などに要請し、廃棄物の発生を抑制する。
用紙類の使用量の抑制	<ul style="list-style-type: none"> ・資料や文書の印刷・コピーは、両面・縮小・集約を推進する。 ・資料や文書は、印刷時に頁数・部数が必要最小限の量となるよう作成・編集する。 ・個人情報・機密事項に留意し、ミスコピーや使用済文書、使用済封筒を再活用する。
リサイクル向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの分別促進やエコキャップ推進運動など、リサイクル率の向上に努める。
グリーン購入の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・紙、事務用品などはエコマーク商品やグリーンマーク商品、再生紙使用マークのついた商品を優先的に購入、使用するなど「グリーン購入」に努める。

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

指定項目(3) 個人情報の保護

[具体的な取組]

1. 個人情報保護のための管理運営体制の構築

- 本業務にて取得する個人情報については、個人情報の保護に関する法律をはじめ、都の定める個人情報保護条例を遵守し、必要な措置を講じます。また、**個人情報保護方針(プライバシーポリシー)**を定め、すべての職員・スタッフと共有し、これを徹底します。
- 施設長を**個人情報取扱責任者**に任命し、適正な取扱、ルールへの遵守、漏えい防止を監督・指導します。当施設では、各種施設利用の申込書をはじめ、イベント・プログラムの参加申込、遺失物及び拾得物の届け出などにおいて個人情報を取得するため、**担当業務ごとに取扱者を選任**します。
- 業務期間終了後や離職後も業務上知り得た個人情報や機密情報を第三者に提供しないよう、『**機密及び個人情報の守秘に関する誓約書**』を取り交わします。
- 個人情報の取扱ルールを公園管理事務所内に掲示し、日常的に確認することで注意喚起や安全意識の向上を図ります。
- 個人情報の取扱ルールなど**

項目	主な内容
取得目的の明確化	・利用目的を明確にし、生命、身体又は財産の保護などにかかわる緊急の場合を除き、利用者本人の同意を得ずに 目的外で利用することを禁止 します。
公表・通知	・個人情報を取得する際は、あらかじめ利用目的を公表しておくか、速やかに本人に通知又は公表します。 ・ホームページや各種申請書類での公表、印刷物・掲示物での公表など、確実に認識できる方法で行います。
取得	・取得した個人情報を正確かつ最新の内容に保つよう努めるほか、 不正な手段による個人情報の取得を禁止 します。
第三者への提供	・取得した個人情報は、法律上の要求、生命、身体又は財産の保護などにかかわる緊急の場合を除き、 第三者への提供を禁止 します。 ・個人情報の取扱がある再委託事業者等第三者とは「秘密保持契約書」を締結します。
管理・保管	・個人情報が記載された書類については、 部外者の目に触れることのないよう所定の場所に保管 し、その場を離れる際は必ず施錠します。 ・個人情報取扱責任者の許可なく、個人情報の記載された書類・データの移動、複製などを行うことを禁止します。 ・離席時のパソコンログオフ、パソコン起動時のパスワード設定を行います。 ・個人情報が記載された書類・資料・メモ書きなどは、管理事務所内であっても事務机上やカウンター上などへの放置を禁止します。 ・FAXによる送信は誤送信を防止するため、 多重チェック を行います。
処分	・個人情報が記載された書類は破砕機及び溶解により処分します。また、電子データは物理的に破壊又は消去します。 ・個人情報が記載された書類やデータは、 保管方法・保管期間を定め管理 し、業務完了時は、都と引継ぎ・処分に関する協議を行ったうえで対応します。

2. コンプライアンスの遵守

- 東京都体育施設条例をはじめ、**個人情報保護、知的財産所有権、人権尊重**などに関する研修を実施し、情報漏えいによる影響などを指導します。

3. 情報セキュリティの向上

- 東京 2020 大会における情報セキュリティやサイバーテロへの対策・対応経験を生かし、ハード及びソフトウェアの管理、ネットワーク機器の監視及び管理のほか、情報の取扱やルールに関する指導を行います。
- 当法人では、効率的に管理運営を行うため、**事故や災害記録、イベント情報、「お客様の声」**など、様々な情報をデータベース化し、共有するシステムを採用しています。これらの情報に対し、不正アクセスやコンピュータウィルスの感染による漏洩や流出に細心の注意を払います。

コンプライアンス研修
(本社実施の専門研修)

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

指定項目(4) 感染拡大防止

【基本的な考え方】

- 新型コロナウイルス感染症をはじめとして、全国の公共施設での様々な感染症への対応経験を生かし、感染状況や国・都・区の要請に即応し、利用制限や注意喚起などの適切な感染予防措置を講じます。
- スポーツ施設である当施設の特性や利用動向を踏まえた対応マニュアルや事業継続計画(BCP)を整え、利用者、スタッフ、関係者の安全・安心を確保します。屋外施設を生かした非接触化・分散化の利用促進、利用者サービス提供に取り組むとともに、風水害や酷暑などの異常気象、地震等との複合災害に備えます。

【新型コロナウイルス感染症対策】

- 当施設における新型コロナウイルス感染症対策については、令和2年2月の「新型コロナウイルス感染症に関する知事メッセージ」を受け、都との協議・指示により利用規制・イベント中止などの対策を継続的に実施し、令和2年3月、東京2020大会の延期が決定されました。
- このような状況の中で、**当法人独自の新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン**に基づき、当施設に即した感染予防策を実施することで、令和3年7月の東京2020大会から、令和4年4月の再開まで、利用者スタッフを守る行動を徹底し、感染防止に努めてきました。
- 引き続き、都との緊密な連携により感染状況レベルに応じた対策を着実に実行するとともに、アフターコロナを迎えたとしても、安全・安心の確保を最優先事項とした管理運営を実行します。

主な対策・取組	人的措置	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者・関係者の手洗い励行の呼び掛け、消毒液の設置 ・飛沫感染防止のためのスタッフのマスク、フェイスシールド、手袋の着用 ・施設の利用規制、適切な判断 ・イベントの参加人数の制限、適切な実施判断 ・利用者への注意喚起(3密回避、来場自粛、マスク着用など) ・トイレットペーパーやマスク、消毒液などの確保 ・行動自粛やイベント自粛など都の要請に応えつつ、スタッフの安全を確保しながら事業継続のための業務体制を維持
	物理的措置	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルディスタンスの確保のための物理的な誘導措置 ・テーブル、イス、小便器などの間隔開け ・ドアノブやボタン、衛生器具などの接触の多い部位の清掃 ・飛沫感染防止のための透明シート・カーテンなどの設置
	注意喚起など	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページでの感染防止対策の喚起 ・感染者発生時の速やかな公表 ・「東京版コロナ見守りサービス」、「接触確認アプリ(COCONA)」の利用、「TOKYO ワクションアプリ」への登録の呼び掛け



感染防止対策

【その他の感染症対策】

- デング熱や新型インフルエンザなどの感染症が発生した際は、**危機管理マニュアル(感染症編)**に沿って、情報収集や感染予防、利用制限などの対策を講じます。
- 当法人代表が指定管理者を務める新宿区立公園では、ヒトスジシマ蚊によるデングウイルス感染症が発生した際に「たまり水ゼロ作戦」の実績があります。そのため、放置バケツや鉢植えの下皿、ブルーシートなどに水が溜まらないようにするほか、排水溝の清掃を行い、蚊の発生が多い時期は、看板や放送などを通じて、利用者に注意喚起を図ります。
- 高病原性鳥インフルエンザの集団発生は、渡り鳥が伝播に関与している可能性が考えられており、複数の鳥が死んでいる場合や、異常が考えられる場合は、速やかに自然環境部計画課鳥獣保護管理担当へ連絡します。
- 野生の鳥は体内や羽毛などに細菌や寄生虫などの病原体を持つ場合があるため、素手で触ることを避けます。また、糞が靴の裏に付着することで感染が広がる恐れがあるため、細心の注意とともに靴裏の消毒を行います。

デング熱対策

事業者名・団体名	海の森水上競技場マネジメント共同企業体
----------	---------------------

指定項目 指定期間中の収支の考え方

〔基本的な考え方〕

- 当法人は、東京2020大会で高まったスポーツへの関心と、当施設への期待に応えるべく、魅力的なスポーツ振興事業、自主事業、周辺連携事業、利用者サービス事業を展開することで、都民・国民の健康で豊かな生活に貢献します。そのため、多様な主体との信頼関係を築きながら、当施設の設置目的と求められている質を達成する能力を持った「人財」と、健全かつ安定した管理運営を遂行していくための「資金」が必要であると認識します。
- 収入・支出の計画は、当法人のこれまでの多くの実績とネットワークを活用し、利用者並びに都にとって効果的・効率的な管理運営を実行できるスタッフ体制とするとともに、当法人を構成する各社の強みを発揮できる無理無駄のない収支計画を策定します。

〔具体的な取組〕

1. 委託費の支出について

1) スタッフ一人ひとりの能力を発揮することで支出を抑制

- 当法人構成員各社の技術力を存分に発揮できる正規職員を配置し、担当業務のみならず互いの業務を補完しながら効率化を図ります。
- 施設長の指揮の下、全スタッフ16名がひとつのチームとして機能することで、異常やトラブルを迅速かつ的確に解決し、外注費を抑えます。
- 施設長補佐、各業務責任者、各業務担当者、現場スタッフの一人ひとりが持ち場に責任を持って取り組みます。
- スタッフのマルチ化、作業の直営化によって外注費を抑えます。



芝刈作業

2) 多様な主体との連携によりスポーツ振興事業費を抑制

- ボート、カヌーなど貸出艇を使用した体験プログラムやフィットネスプログラムなどの実施にあたっては、競技団体との連携により指導員派遣や当施設スタッフが運営にあたることで運営費を抑えます。

3) 効率的な広報活動による印刷物制作費などの抑制

- ホームページやSNSを活用し、きめ細やかな情報の発信、話題づくりなどを行うとともに、プレスリリースによりパブリシティの獲得を図ります。
- 大会・合宿・団体利用への訪問営業を積極的に実施します。

競技団体指導員

4) 管理事務所における省エネ活動による支出の抑制

- 資料の印刷は、公式な業務書類・記録・報告、外部調整用の資料に限定するほか、ペーパーレスやモノクロ印刷、裏紙使用を推進します。
- 自転車による巡回点検、無線機導入、照明の間引き点灯、水道節水コマ、エアコンの温度設定など、燃料費、通信費、光熱水費を抑えます。



競技コース施設の洗浄

5) 施設の劣化を防止するためのこまめな清掃

- 施設や設備機器、エアコンのフィルターなど、こまめな清掃を行い、塩害や粉塵などによる劣化の進行を遅らせることで故障を防ぎます。

6) 清掃消耗品の本社一括契約による購入費の抑制

- トイレトーパーやゴミ袋など、全国事業所使用数による一括見積を徴収し、最安値で購入します。

7) ごみの持ち帰り運動の推進による廃棄物処理費の抑制

- ごみ箱の設置数を必要最低限とし、持ち帰りを促す表示を館内に掲出します。

8) 造園管理の直営化による外注費の抑制

- 芝刈、除草、倒木、折れ枝などの作業を可能な限りスタッフ直営で実施します。

9) 冬季の休館日における点検・修繕の集中作業による現場管理費などの抑制

- 12月・2月の水上競技利用のオフシーズンに休館日を設け、施設・設備の点検や修繕を集中的に実施することで、警備や仮設物などの費用抑制と工期短縮を図ります。

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

提案課題 6 [収支計画]

10) 巡回点検による異常の早期発見で修繕費を抑制

- 1日4回の巡回点検により、施設の破損や欠損、設備の異常警報などを早期に発見することで、被害を最小限に止め、修繕費などを抑えます。

11) 周辺地域の専門業者ネットワークによる迅速な対応と経費の抑制

- 当法人構成員各社が持つ周辺地域での専門業者ネットワークにより、異常や故障が発生した際に速やかな対応を要請することができます。これにより被害と費用を抑えることができます。

12) 電力供給事業者の選定

- 電気供給事業者は価格競争により決定します。

2. 利用料金収入及び自主事業収入について

- 年間来場者目標 35 万人の達成に向けた取組により、利用料金収入の確保を図ります。
- 利用者のニーズを掴んだ自主事業・利用者サービスの提供により、安定的な収入を確保します。
- 魅力的なイベントを開催し、全都的・広域的な利用と安定的な参加料などの収入を確保します。

3. 収支に赤字・黒字が生じた場合の取扱について

- 赤字分は当法人が負担します。
- 黒字分（指定管理料収支で利益が生じることが見込まれる場合）は、自主事業や周辺連携事業、利用者サービス事業の取組に充当するなど、管理運営の品質の維持向上を図ります。

4. 収益向上の取組

- 水上競技団体とのこれまでの信頼関係に基づき、大会・合宿の継続的な利用を誘致することで、利用料金を確保します。
- 水上競技コースや屋内外の施設を最大限活用した多彩なイベント・プログラムの実施により、利用料金と自主事業収入を確保します。あわせて、周辺施設との連携・協働や企業協賛の誘致を図ります。
- 利用者のニーズと利用動向にマッチした満足度と収益性の双方を最大化させる、利用者サービス事業を実施します。
- 当施設は東京 2020 大会の会場として、建設・土木などの高度な技術によって建設される国際基準の水上競技場です。水上競技コースや水門設備などの特殊性の高い施設は、予期せぬ異常・故障が発生する恐れがあります。また、風水害や地震災害による被害も想定しなければなりません。よって、すべてのスタッフが支出の抑制と収入の増を常に意識しながら業務に取り組みます。
- 周囲が海に囲まれていることから、強風・潮風、高潮など気象の影響による被害をハード・ソフトの両面で想定し、日々の点検により異常の早期発見に努めることで、物理的被害・費用的損害を最小限に止めます。

5. 指定管理料の削減額

項目	2023~2027 年度
東京都提示 【参考価格・年間指定管理料】	180,469,000 円
当法人提案の年間指定管理料 (消費税 10%)	180,455,000 円 (うち消費税 : 16,405,000 円)
削減額	14,000 円

事業者名・団体名

海の森水上競技場マネジメント共同企業体

提案課題6 別表 指定管理期間中の収支計画

(1) 支出の計画

単位：千円

項目		5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計	内容	備考
人件費	正規職員								
	臨時職員							アルバイト、派遣職員、非常勤職員等	別紙1積算内訳①
	人件費計(A)								
事業費	光熱水費							電気・ガス・水道・燃料	別紙1積算内訳②
	消耗品費等							消耗品、備品、印刷製本、原材料等	別紙1積算内訳③
	役務費							電話・通信・運搬費等	別紙1積算内訳④
	委託費(維持管理費等)							設備保守・清掃・警備・その他業務委託等	別紙1積算内訳⑤ 及び別紙2委託費内訳
	修繕費・工事費								別紙1積算内訳⑥
	賃借料							リース料等	別紙1積算内訳⑦
	その他							諸謝金・旅費交通費・その他経費	別紙1積算内訳⑧
	小計								
	間接費							管理運営に伴う本社等の経費(人件費を含む。)	
	合計								
消費税									
管理運営費計(B)									
事業費								スポーツ振興事業、スポーツの日記念事業に係る事業費	
間接費								スポーツ振興事業、スポーツの日記念事業運営に伴う本社等の経費(人件費を含む。)	
合計									事業計画書 3-1-(1)(2)
消費税									
スポーツ振興事業費計(C)									
支出合計(D=A+B+C)									

(2) 収入の計画

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計	内容	備考
管理費							専用・個人の施設利用料金、自主事業及び周辺連携事業の施設利用料金	別紙⑨積算内訳
運営費							預金利子、利用者サービス事業に伴う光熱水費等	別紙⑩積算内訳
管理運営費計(E)								
参加料							ｽﾎｰﾝ振興事業、ｽﾎｰﾝの日記念事業に係る参加料	
振興費							ｽﾎｰﾝ振興事業、ｽﾎｰﾝの日記念事業に係る協賛金等	事業計画書 3-1-(1)(2)
振興費計(F)								
その他(G)							利用者サービス事業からの繰入額	事業計画書 3-1-(3)(4)(5)
収入合計(H=E+F+G)								

(3) 都からの委託料

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計	内容	備考
都からの委託料(D-H)	180,455	180,445	180,445	180,445	180,445	902,275		

※(参考) 自主事業、周辺連携事業及び利用者に対するサービス提供事業の収支(積算内訳は事業計画書3-1-(3)(4)(5))

単位：千円

項目	5年度			6年度			7年度			8年度			9年度		
	収入	支出	差引	収入	支出	差引	収入	支出	差引	収入	支出	差引	収入	支出	差引
自主事業															
周辺連携事業															
利用者に対するサービス提供事業															
合計															

提案課題6 別紙1 収支計画の積算内訳

(4) 収支計画の積算内訳

(金額等の数字は収支計画の記入金額と整合させてください。)

① 人件費積算内訳

単位：千円

--	--	--	--	--	--	--

② 光熱水費積算内訳

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
電気						
水道						
燃料						
合計						

③ 消耗品費等積算内訳

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
消耗品・備品						
印刷製本						
合計						

④ 役務費積算内訳

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
電話						
通信						
保険料						
運搬費						
合計						

⑤ 委託費（維持管理費等）積算内訳

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
内訳は提案課題6 別紙2「⑤委託費（維持管理費等）積算の内訳」のとおり						

⑥ 工事請負費・修繕費積算内訳

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
修繕費						
合計						

⑦ 賃借料積算内訳

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
リース料						
合計						

⑧ 管理運営費・その他支出積算内訳

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
旅費交通費						
合計						

⑨ 体育施設利用料金収入積算内訳

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
合計						

※ ⑨体育施設利用料金収入の積算補足資料

--	--

⑩ 管理運営費・その他収入積算内訳

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
合計						

提案課題6 別紙2 ⑤委託費（維持管理費等）の積算内訳

分類	作業の種類	金額(円)・税抜	備考
電気設備	電気設備点検・修繕		
電気設備	通信設備・映像設備点検・修繕		
電気設備	監視・制御設備・防犯カメラ		
電気設備	太陽光発電設備点検・修繕		
建築設備	建物点検・修繕		
建築設備	工作物点検・修繕		
建築設備	昇降設備点検・修繕		
建築設備	自動扉設備点検・修繕		
消防設備	消防設備点検・修繕		
空調設備	空調設備点検・修繕		
通信設備	放送設備点検・修繕		
給排水設備	給排水衛生設備点検・修繕		
給排水設備	雨水処理設備点検・修繕		
測定業務	環境測定		
清掃業務	定期ガラスおよび建物清掃		
清掃業務	廃棄物処理		
警備業務	警備業務		
警備業務	機械警備		
警備業務	安全監視・誘導整理		
施設提供業務	宿泊等の夜間対応業務		
競技施設等	貸出艇点検		
厨房設備	厨房機器メンテナンス		
植栽管理	植物管理作業		
植栽管理	防風林管理作業		

提案課題6 別紙2 ⑤委託費（維持管理費等）の積算内訳

分類	作業の種類	金額(円)・税抜	備考
水門管理	水門・揚排水ポンプ運營業務		
施設連携	イベント実施補助		
計			